

令和6年3月

湯梨浜町議会定例会

令和6年度

一般会計

当初予算参考資料
(歳出予算 事業概要書)

東伯郡湯梨浜町

【産業振興課】

令和6年度 一般会計

歳出予算事業概要書 目次

歳出予算

款	項	ページ
5. 農林水産業費		
	1. 農業費	1
	2. 林業費	25
	3. 水産業費	30
6. 商工費		
	1. 商工費	35

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業	大 0044 中核的担い手農家育成補助金 (簡略番号：009111)				
事業	中				
事業	小				
事業	細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農一業一農業農村整備		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	1,730	1,038	692	2,512	1,218
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	410	217	193	771
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,320	821	499	1,741

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 湯梨浜町内において、地域農業の担い手となる認定農業者等が、利用権設定により農地を3年以上借り受けた場合、集積奨励金として1年当たり2,000円/10a (町外担い手は1,000円/10a)、遊休農地加算として1回に限り25,000円/10aを交付する。また、令和6年度からは果樹園加算として、東郷果実部が選定する「やらいや果樹園」に利用権設定した場合、年間3,000円/10aを加算する。
【事業の必要性】
 農地の流動化を促進し、将来にわたって地域農業の担い手となる農家を育成し、遊休農地を解消するために必要である。
【事業の内容】
 R6. 1. 1～R6. 12. 31に3年以上の利用権設定をする担い手農家に奨励金を交付する。
 集積奨励金：1,657,213円 (218,010㎡)
 果樹園加算：72,378円 (3,186㎡) 合計：1,729,591円

2. 根拠法令
 湯梨浜町中核的担い手農家育成奨励金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
【地方創生総合戦略】基本目標Ⅰ 活気ある元気なまち (農林水産業の振興)
 SDGs 目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 3年以上農地の貸借契約をした認定農業者等を支援する。
【事業の効果】
 担い手への農地集積を加速することで、町内の遊休農地発生防止及び解消が図られる。
【令和5年度評価】
 事業実施により、担い手への農地集積が進み、農地の有効利用が図られている。

6. 財源の説明
【県支出金】市町村創生交付金 410千円
【一般財源】1,320千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	1,730	1,730
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	1,730	1,730

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401257	市町村創生交付金 (中核的担い手)	410	217

【補助金】

補助金等の名称	市町村創生交付金				
補助基本額	1,730	補助率	23.7%	補助金額	410

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 004400000事業 中核的担い手農家育成補助金

歳出予算事業概要書

令和6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位:千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業	大 0050 二十世紀梨を大切に作る町づくり (簡略番号: 009166)	新規・継続	継続	臨・経	経常
事業期間	令 6. 4. 1~令 7. 3. 31				
経費区分	経常的経費				
補助単独区分	事業の種類 未設定				
	目的区分	農一業一農業農村整備			

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	1,076	434	642	434	357
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,076	434	642	434

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 二十世紀梨を大切に作る町づくり委員会 (生産者、消費者) を核とした梨を活用した地域振興の取り組みや情報発信等の取り組みを支援する。「梨の日」や初出荷式行事、百年樹の保護活動や梨並木の管理、優良園継承奨励金など。また、鳥取大学生を招いて農業体験を実施し、新規就農のきっかけはもとより、今後の関係人口増加へ向けた取り組みを行う。
【事業の必要性】
 「湯梨浜町二十世紀梨を大切に作る条例」に基づく事業で、梨生産農家数の減少により生産量が減少する中、町経済に影響する梨の生産振興と加工品等を含めた販売強化を図る。
 2. 根拠法令
 湯梨浜町二十世紀梨を大切に作る条例
 3. 用地の状況
 4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
【地方創生総合戦略】 基本目標 I 活気ある元気なまち (農林水産業の振興)
【SDGs】 目標15「陸の豊かさを守ろう」
 5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 前年度で終了した「梨産地再生プラン」のうち、必要な事業を引き続いて進める。また二十世紀梨の消費拡大のため、県外に二十世紀梨を積極的にPRするとともに、地元大学生を農業体験に招き、関係人口の増加を図る。
【令和5年度価】
 町づくり委員会を年に2回、梨の日、初出荷式を実施した。
 6. 財源の説明
【一般財源】 1,076千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	424	424
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	75	75	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	166	166	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	90	90	25 寄附金		
11 役務費	16	16	26 公課費		
12 委託料	295	295	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	10	10	予備費		
14 工事請負費			合計	1,076	1,076
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 005000000事業 二十世紀梨を大切に作る町づくり

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業	大 0087 親元就農促進支援交付金事業 (簡略番号：033902)				
事業	中				
事業	小				
事業	細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農一業一農業農村整備		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)				
区分	事業費	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財源内訳	国庫支出金	2,700	3,300	△600	3,300	2,100
	県支出金	1,800	2,200	△400	2,200	
	地方債					
	その他					
	一般財源	900	1,100	△200	1,100	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 認定農業者等の農業経営体が、将来経営を継承する予定の後継者(親元就農者)に、栽培技術や経営のノウハウ等を習得させるための研修に対して交付金を交付する。
 助成額：10万円/月(最大2年間) ※補助率10/10(県2/3、町1/3)

【事業の必要性】
 地域の担い手として位置付けられる農業経営体の農業経営を継承し、親元就農者が地域農業の担い手として定着するために必要な支援である。

【事業費】
 対象となる研修生は3人で、交付額合計2,700千円。

2. 根拠法令
 鳥取県親元就農促進支援交付金交付要綱
 鳥取県親元就農促進支援交付金事業実施要領

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
【SDGs】目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 事業継承のため、後継者の就農研修を行う認定農業者3人を支援。
【事業の効果】
 将来の担い手として定着が見込まれ、農業経営の継続的な発展が図られる。
【令和5年度評価】
 認定農業者3人に対し助成。これまで事業を活用された経営体についても、経営継承に向けて営農活動が続けられている。

6. 財源の説明
【県支出金】1,800千円
【一般財源】900千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	2,700	2,700
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	2,700	2,700

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401251	親元就農促進支援交付金	1,800	2,200

【補助金】

補助金等の名称	親元就農促進支援交付金				
補助基本額	2,700	補助率	66.6%	補助金額	1,800

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 008700000事業 親元就農促進支援交付金事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業	大 0131 特産果物生産振興事業 (簡略番号：040722)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農一業一その他		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	4,000	4,000		4,000	4,842
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	898	1,002	△104	1,304
	地方債				
	その他				
一般財源	3,102	2,998	104	2,696	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 町特産品である二十世紀梨に加え、ぶどう、いちごなど施設園芸品目の生産拡大を目指して生産者の負担軽減のための施設整備等を支援し、特産品としての生産力維持・振興を図る。
 対象品目：二十世紀梨、ぶどう、いちご、メロン、スイカ、ほうれん草、梅

【事業の必要性】
 町の特産品でありながら年々生産者数や生産面積が減少している施設園芸品目と梨の生産について、特産地として維持発展していくために生産者の負担軽減を図り、産地活力を高めて後継者育成の基盤を整える。
【補助額】 総額4,000千円
 梨、ぶどう、メロン、ほうれん草、いちごなどの部会および町内一般農業者

2. 根拠法令
 町特産農産物生産振興事業補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
【地方創生総合戦略】 基本目標Ⅰ 活気ある元気なまち (農林水産業の振興)
【SDGs】 目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 特産農産物の生産振興 (国や県の補助事業の対象にならない事業) を図る。
【事業の効果】
 特産農産物の生産者の労力軽減による生産設備を支援し、営農継続できる体制を築き、合わせて担い手の育成も図りながら産地の活力強化を図る。
【令和5年度評価】
 ハウス被覆更新等27件 補助額約3,932千円を支援した。

6. 財源の説明
【県支出金】 市町村創生交付金898千円
【一般財源】 3,102千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	4,000	4,000
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	4,000	4,000

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401068	がんばる地域プラン事業費補助		208
都道府県支出金	15020401231	市町村創生交付金 (特産果物生)	898	794

【補助金】

補助金等の名称	市町村創生交付金			
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 013100000事業 特産果物生産振興事業

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業	大 0135 就農条件整備事業 (簡略番号：009297)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農一業一農業農村整備		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)				
区分	事業費	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財源内訳	国庫支出金	3,723	2,878	845	1,224	2,495
	県支出金	2,481	1,916	565	815	
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,242	962	280	409	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 認定新規就農者が、就農から5年以内に行う機械や施設等の整備に対して助成する。
 ※補助金1/2(県1/3、町1/6) 補助上限1,200万円
【事業の必要性】
 就農初期における経営基盤整備の負担軽減を図り、効率的かつ安定的な農業経営の担い手となる青年等の就農促進と自立支援のために必要。
【事業費】
 動力噴霧器他1,095千円×1/2=548千円
 スピードスプレーヤー3,355千円×1/2=1,678千円
 トラクター2,995千円×1/2=1,498千円 計3,723千円

2. 根拠法令
 鳥取県就農条件整備事業費補助金実施要領
 鳥取県就農条件整備事業費補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
【地方創生総合戦略】基本目標Ⅰ 活気ある元気なまち (農林水産業の振興)
【SDGs】目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 認定新規就農者3人に動力噴霧器などの導入を支援する。
【事業の効果】
 営農開始時の負担軽減により、担い手としての早期自立と安定した営農が見込まれる。
【令和5年度評価】
 認定新規農業者2人 (根葉切機、肥料散布機など) を支援した。

6. 財源の説明
【県支出金】 2,481千円
【一般財源】 1,242千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	3,723	3,723
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	3,723	3,723

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401206	就農条件整備事業補助金	2,481	1,916

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県就農条件整備事業補助金				
補助基本額	7,445	補助率	33.3%	補助金額	2,482

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 013500000事業 就農条件整備事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業	大 0137 がんばる農家プラン事業 (簡略番号：009305)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農一業一農業農村整備		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	5,517	13,500	△7,983	15,868	8,535
財源内訳	国庫支出金			789	
	県支出金	3,676	9,000	△5,324	10,578
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,841	4,500	△2,659	4,501

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 認定農業者等の意欲的な農業者に規模拡大・低コスト化などの経営改善に向けた機械・施設の導入等を支援する。
【事業の必要性】
 県制度を活用し、意欲ある農業者の規模拡大・効率化による経営安定化を支援する。耕作放棄農地が年々増加するなか、農地を積極的に引き受ける農業者を支援する必要がある。
【事業費】
 補助率：県1/3(上限3,000千円)、町1/6(上限1,500千円)
 ①乾燥調製用機械一式 対象事業費 6,582千円 補助金3,291千円
 ②田植機 対象事業費 4,452千円 補助金2,226千円

2. 根拠法令
 がんばる農家プラン事業実施要領
 がんばる農家プラン事業費補助金交付要綱
 湯梨浜町農林水産業間接補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業) SDGs 目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 認定農業者2名の農業用機械及び施設整備に対して補助金を交付する。
【事業の効果】
 規模拡大、経営発展に意欲的な認定農業者の機械・施設整備を支援することで、地域農業の発展、耕作放棄地の防止を図る。
【令和5年度評価】
 認定農業者3名の機械及び施設整備を補助し、農業規模拡大及び経営発展を支援した。

6. 財源の説明
【県支出金】 3,676千円
【一般財源】 1,841千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費	
02 給料			17 備品購入費	
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	5,517
04 共済費			19 扶助費	
05 災害補償費			20 貸付金	
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金	
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料	
08 旅費			23 投資及び出資金	
09 交際費			24 積立金	
10 需用費			25 寄附金	
11 役務費			26 公課費	
12 委託料			27 繰出金	
13 使用料及び賃借料			予備費	
14 工事請負費				
15 原材料費			合計	5,517
				5,517

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401054	がんばる農家プラン事業費補助	3,676	9,000

【補助金】

補助金等の名称	がんばる農家プラン事業費補助金				
補助基本額	11,033	補助率	33.3%	補助金額	3,676

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 013700000事業 がんばる農家プラン事業

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業	大 0147 水田病害虫対策事業 (簡略番号：037757)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農一業一農業農村整備		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,480	2,505	△25	2,505	2,152
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	1,031	1,115	△84	1,193
	一般財源	1,449	1,390	59	1,312

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 近年、町内の水田で被害が拡大しているジャンボタニシ及び縞葉枯病による水稲収穫量の減少を防ぐため、被害低減に有効な稲収穫後の耕耘に要する経費の一部を助成する。
【事業の必要性】
 被害要因であるジャンボタニシとヒメトビウンカ（縞葉枯病ウイルスの媒介虫）の越冬防止策として稲収穫後の耕耘が有効であり、地域全体で推進を図る必要がある。
【事業費】
 (直営) 対象農地260ha×補助単価800円/10a=2,080,000円
 (委託) 対象農地16ha×補助単価2,500円/10a=400,000円 合計：2,480,000円

2. 根拠法令
 湯梨浜町水田病害虫緊急対策（秋耕うん推進）事業補助金等交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり（魅力とやりがいのある農林水産業）SDGs 目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【事業の計画】
 秋耕耘を実施する水稲生産者に経費の一部を支援する。
【事業の効果】
 病害虫被害対策を推進し営農意欲の低減を防ぐ。
【令和5年度評価】
 計画取りまとめ時点の実施予定率は78.8%であり、R4実施率67.6%を上回る見込み。

6. 財源の説明
【繰入金】 691千円（ふるさと湯梨浜浜応援基金繰入金）
【負担金】 340千円
【一般財源】 1,449千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	2,480	2,480
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	2,480	2,480

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
負担金	12020401002	水田病害虫緊急対策（秋耕耘推	340	321
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	691	794

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 014700000事業 水田病害虫対策事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業	大 0151 集落営農体制強化支援事業 (簡略番号：009346)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農一業一農業農村整備		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)				
区分	事業費	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財源内訳	国庫支出金	8,880	4,625	4,255	4,394	4,545
	県支出金	5,918	3,083	2,835	2,928	
	地方債					
	その他					
	一般財源	2,962	1,542	1,420	1,466	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 小規模農家が共同で営農する集落営農に対して、機械施設の整備等の支援を行い、経営の多角化や次世代への円滑な運営継承を図る。
【事業の必要性】
 農業者の高齢化及び後継者不足が課題となる中、将来に向けて集落農地を維持できる体制づくりを進めるために必要である。
【事業費】 補助率 県1/3 町1/6
 ①長江土地利用組合 事業費 6,117千円×1/2=3,059千円 (トラクター)
 ②上浅津営農組合 事業費11,642千円×1/2=5,821千円 (コンバイン)

2. 根拠法令
 県集落営農体制強化支援事業実施要領
 県集落営農体制強化支援事業費補助金交付要綱
 湯梨浜町農林水産業間接補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業) SDGs 目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 地区内の水田の過半を集積する目標を定めた「集落営農ビジョン」に基づき、農地の集約化を図る集落営農組織を支援する。組織の経営規模、形態等を踏まえた適切な生産体系を確立するために必要な農業用機械の導入費を助成する。
【事業の効果】
 集落営農組織の作業効率向上による経営安定化と集落農地の維持が図られる。
【令和5年度評価】
 町内2営農組織の機械整備を支援し、組織の経営安定化と集落農地の維持を図った。

6. 財源の説明
【県支出金】 5,918千円
【一般財源】 2,962千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	8,880	8,880
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	8,880	8,880

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401204	集落営農体制強化支援事業費補	5,918	3,083

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県集落営農体制強化支援事業費補助金				
補助基本額	17,759	補助率	33.3%	補助金額	5,918

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 015100000事業 集落営農体制強化支援事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	05	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事業	大	0165	就農準備資金・経営開始資金等事業	(簡略番号：032636)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	農一業一農業農村整備			

		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財源内訳	区分	3,947	5,794	△1,847	5,073	3,656
	事業費					
	国庫支出金					
	県支出金	3,946	5,793	△1,847	5,072	
	地方債					
その他						
一般財源	1	1			1	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 認定新規就農者の就農当初の資金を確保するため、就農後5年以内の青年就農者に対し資金を交付する。
【事業の必要性】
 農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な力強い農業を実現するには、青年等の新規就農者を育成する必要があるため、国の助成制度を活用し、就農意欲の喚起と就農後の定着を図るために必要である。
【事業費】
 (継続) 農業次世代人材投資資金(原則50歳未満、最長5年間、最高150万円/年、国10/10) 2,447千円 対象農業者2人(うち1人は所得制限あり)
 (継続) 経営開始資金事業(原則50歳未満、最長3年間、最高150万円/年、国10/10) 1,500千円 対象農業者1人

2. 根拠法令
 新規就農者育成総合対策実施要綱、湯梨浜町農林水産業間接補助金交付要綱
 鳥取県就農準備資金・経営開始資金等事業費補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり(魅力とやりがいのある農林水産業)
【SDGs】目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 湯梨浜町内における就農5年以内の青年就農者3人に対し、上限150万円/年の農業次世代人材投資資金等を交付する。
【事業の効果】
 就農意欲の喚起と就農の定着を促すことで、青年就農者の着実な増加が期待される。
【令和5年度評価】
 認定新規就農者3人に交付し就農初期の営農体制を支援した。

6. 財源の説明
【県支出金】3,946千円
【一般財源】1千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	3,947	3,947
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	3,947	3,947

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401064	就農準備資金・経営開始資金等	3,946	5,793

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県就農準備資金・経営開始資金等事業費補助金				
補助基本額	3,947	補助率	100.0%	補助金額	3,947

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 016500000事業 就農準備資金・経営開始資金等事業

歳出予算事業概要書

令和6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	所属	0101012200-0000 産業振興課 (農林水産)	
事業	大 0233 収入保険制度助成事業 (簡略番号：009525)							
	中							
	小							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時			
経費区分	未設定	事業の種類	未設定					
補助単独区分		目的区分	農一業－農業農村整備					

区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	343	366	△23	366	298
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	343	366	△23	366

【事業概要】

- 事業の概要と必要性
 - 【事業の概要】**
国が平成31年度に新たに創設した収入保険制度は、自然災害による収量減少や価格低下など、農業者の経営努力では避けられない農産物販売収入全体の減少を補償する制度である。保険料のうち事務費付加分を助成する。
 - 【事業の必要性】**
農業生産者の高齢化や減少が進む中、異常気象による自然災害や国際情勢による価格低下の懸念も生じており、本町の農業生産力を維持向上するため農業経営の安定化を支援する必要がある。
 - 【事業の内容】**
加入者の保険料（事務費部分）の定額助成
新規4,500円×加入者数10戸=45,000円
継続3,200円×93戸=297,600円
- 根拠法令
農業経営収入保険制度事業実施要領（農林水産省）
湯梨浜町農業経営収入保険制度補助金交付要綱
- 用地の状況
- 基本計画との関連
【第4次総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり（魅力とやりがいのある農林水産業）
【SDGs】 目標12 つくる責任つかう責任
- 本年度の計画効果
【本年度の計画】
制度加入は共済制度との選択制であり、加入移行も含めた支援により農家経営の安定化を図る。
【事業の効果】
農業経営の安定化を支援し、農業生産力の向上が図られる。
【令和5年度評価】
新規加入9戸、継続加入84戸を補助対象とした。
- 財源の説明
【一般財源】 343千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	343	343
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	343	343

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 023300000事業 収入保険制度助成事業

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業	大 0298 鳥取梨生産振興事業 (簡略番号：035368)	新規・継続	継続	臨・経	臨時
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	事業の種類	未設定		
経費区分	経常的経費	補助単独区分	目的区分	農一業一農業農村整備	

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	6,763	11,857	△5,094	11,857	15,988
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	6,593	11,557	△4,964	11,557
	地方債				
	その他				
一般財源	170	300	△130	300	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 梨生産地を維持発展させていくため、県奨励の品種 (二十世紀、新甘泉、王秋) への新植・改植、それに伴う園地整備 (果樹棚、かん水施設などの導入)、乗用草刈機の導入などを支援する。
【事業の必要性】
 梨の木の老木化が進む中、市場から高評価を受けている新品種の出荷量の拡大と、東郷梨のブランド化の維持・向上のため、県制度を活用し継続して支援していく。
【補助金】
 新甘泉特別対策事業4,793千円、低コスト・体制強化事業1,800千円など6,763千円

2. 根拠法令
 鳥取梨生産振興事業及び柿ぶどう等生産振興事業実施要領
 湯梨浜町農林水産業間接補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
【地方創生総合戦略】基本目標I 活気ある元気なまち (農林水産業の振興)
【SDGs】目標15 陸の豊かさを守ろう

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 高収益品種の新甘泉の導入に伴う果樹棚設置や改植、乗用草刈機の導入等への支援を行う。
【事業の効果】
 鳥取県奨励の新品種「新甘泉」「王秋」への転換を促進し、省力化や高収益化を図り、本町特産である梨の生産農家の営農意欲の向上を図る。
【令和5年度評価】
 新甘泉、王秋への改植を実施し、梨新品種の増産・転換を進めることができた。

6. 財源の説明
【県支出金】6,593千円
【一般財源】170千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費	
02 給料			17 備品購入費	
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	6,763
04 共済費			19 扶助費	
05 災害補償費			20 貸付金	
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金	
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料	
08 旅費			23 投資及び出資金	
09 交際費			24 積立金	
10 需用費			25 寄附金	
11 役務費			26 公課費	
12 委託料			27 繰出金	
13 使用料及び賃借料			予備費	
14 工事請負費				
15 原材料費			合計	6,763
				6,763

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401012	鳥取梨生産振興事業補助金	6,593	11,557

【補助金】

補助金等の名称	鳥取梨生産振興事業費補助金		
補助基本額	13,489	補助率	補助金額 6,593

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 029800000事業 鳥取梨生産振興事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位: 千円)

款	05	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事業	大	0299	担い手ステップアップ支援事業		(簡略番号: 035372)			
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 6. 4. 1~令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	農一業一農業農村整備				

所属	0101012200-0000		産業振興課 (農林水産)		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,673	2,540	133	2,613	3,215
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	1,861	1,351	510	1,823
	一般財源	812	1,189	△377	790

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
認定農業者等の意欲的な農業者を担い手として位置付け、中古機械購入や修理費の助成を行うほか、移住新規就農者への家賃助成などを行う。

【事業の必要性】
本町の農業就業人口は、65歳以上の割合が7割を超えるなど高齢化が進み、農家人口及び農業従事者が減少しており、農業の将来を担うべき農業経営者や新規就農者、後継者を確保するために認定農業者や新規就農者、集落営農組織を育成する必要がある。

【事業費】
就農奨励金 300千円、新規就農者住宅家賃補助 上限20千円×12月×1件=240千円
中古機械導入補助 500千円×2件=1,000千円 機械修理補助100千円×5件=500千円
機械修理補助 (R5要望分) 633千円 合計2,673千円

2. 根拠法令
農業経営基盤強化促進法
湯梨浜町担い手ステップアップ支援事業補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
【地方創生総合戦略】基本目標Ⅰ 活気ある元気なまち (農林水産業の振興)
SDGs 目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
農業担い手育成のための町単独事業として引き続き実施し、就農予定者に制度PRする。予算を増額し、集落営農組織の組織化及び農地集積を推進したい。
【事業の効果】
農業の担い手育成及び増加を図り地域農業の振興を図る。
【令和5年度の評価】
新規就農者、認定農業者、集落営農組織の営農を支援し、地域農業の振興を図った。

6. 財源の説明
【繰入金】 1,861千円 (ふるさと湯梨浜応援基金繰入金)
【一般財源】 812千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	2,673	2,673
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	2,673	2,673

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	1,861	1,351

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 029900000事業 担い手ステップアップ支援事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	
事業	大	0308	ゆりはま地域ブランド力向上事業 (簡略番号：036430)			
	中					
	小					
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定		
補助単独区分			目的区分	農一業一その他		

所属		0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
財 源 内 訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	4,921	4,558	363	4,566	4,081
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	4,921	4,558	363	4,566	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 地域おこし協力隊員として梨の栽培技術を学びながら、栽培体験等を積極的に情報発信し、あわせて農業による移住希望者の相談などの活動を行う。
【事業の必要性】
 首都圏からの移住者が就農者の立場で相談支援にも関わること、実践的な就農者獲得や移住招致につなげていく。
【事業の内容】
 地域おこし協力隊 (4月～3月) として3年間継続雇用予定。報酬、社会保険料等を計上。合計4,921千円

2. 根拠法令
 湯梨浜町地域おこし協力隊設置要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
【SDGs】 目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 町内で特産農産物の農作業体験をしながら、生産者や関係機関と連携する人脈づくりを中心に、新規就農者受け入れ拡大に向けたイベントの企画運営や情報発信を行う。
【事業の効果】
 首都圏からの移住者としての着眼点により、新規就農者としての困りごとや不安なこと、取り組みやすくするポイントなどを整理して関わることで新規就農希望者に寄り添った支援体制を構築する。
【令和5年度評価】
 新規就農者とともに梨栽培に携わり、生産部員や女性農業者と交流。あわせてSNSによる情報発信を活発に行い、新・農業人フェアにも参加した。

6. 財源の説明
【一般財源】 4,921千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,992	1,992	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	748	748	18 負担金、補助及び交付金	1,710	1,710
04 共済費	471	471	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	4,921	4,921

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称			
補助基本額		補助率	補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 030800000事業 ゆりはま地域ブランド力向上事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業	大 0320 産地主体型就農支援モデル確立事業 (簡略番号：039204)	新規・継続	継続	臨・経	臨時
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		事業の種類	未設定	
経費区分	経常的経費		補助単独区分	目的区分 農一業一その他	

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	1,683	1,600	83	1,200	1,612
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	841	800	41	600
	地方債				
	その他				
一般財源	842	800	42	600	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 梨の生産面積が減少する中、梨生産が行われなくなった優良な樹園地をやる気のある生産者に引き渡すための保全管理活動を支援する。
【事業の必要性】
 生産活動に使用されなくなった樹園地は、防除や草刈り等継続した保全管理を行わなければ再生が難しくなる。廃園になる優良な樹園地をやる気のある生産者に引き継ぐための保全管理活動を支援し、梨産地としての持続的な発展を図る。
【事業の内容】
 JA梨生産部が行う継承候補優良園の保全管理活動に要する肥料や農薬、資材代、労務費等の経費を支援する (県1/2、町1/2)。
 維持管理400,000円/10a×40a=1,600,000円
 就農相談〔大阪〕82,660円 ※地域プラン事業から移行

2. 根拠法令
 鳥取県産地主体型就農支援モデル確立事業費補助金交付要綱
 湯梨浜町農林水産業間接補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
【SDGs】 目標12 つくる責任つかう責任

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 JA梨生産部が任命する作業グループが保全管理作業を行う。計画面積は40a。
【事業の効果】
 農地の有効活用、やる気のある生産農家への生産基盤支援、特産梨産地の持続的発展。
【令和5年度評価】
 約30aの果樹園を実施し、樹園地の活用を図った。その後、新規就農者への継承が実現。

6. 財源の説明
【県支出金】 841千円
【一般財源】 842千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	1,683	1,683
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合計	1,683	1,683
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401071	産地主体型就農支援モデル確立	841	800

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県産地主体型就農支援モデル確立事業費補助金				
補助基本額	1,683	補助率	50.0%	補助金額	842

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 032000000事業 産地主体型就農支援モデル確立事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 農地費	所属	0101012200-0000 産業振興課 (農林水産)
事業	大	0051	土地改良事業	(簡略番号：009681)			
	中						
	小						
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分	未設定		事業の種類	未設定			
補助単独区分			目的区分	農一地一農業農村整備			

財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
		事業費	45,971	26,140	19,831	27,481
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	10,799	9,199	1,600	9,199	
	地方債	19,000	5,600	13,400	6,900	
	その他	11,308	8,400	2,908	7,416	
	一般財源	4,864	2,941	1,923	3,966	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 農業生産基盤の整備及び補修を行う土地改良事業を実施する。
【事業の必要性】
 安定した農業生産活動の維持、継続を図るうえで農業施設等の整備・補修は必要。
 ○県しっかり守る農林基盤交付金事業
 工事請負費 17箇所 22,550,000円 設計委託料 1,800,000円
 ※補助率〔工事(町管理以外の事業)〕県40%、町40%、地元20%
 補助率〔工事(町管理事業)〕県50%、町50% ・補助率〔設計〕県50%、町50%
 ○県営事業負担金2箇所(東郷頭首工、奥ため池、谷奥ため池)
 東郷頭首工 40,700,000円×3%=1,221,000円
 奥ため池104,000,000円×11%=11,440,000円
 谷奥ため池79,000,000円×11%=8,690,000円

2. 根拠法令
 鳥取県しっかり守る農林基盤交付金実施要領

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり(魅力とやりがいのある農林水産業)
 SDGs目標 15 陸の豊かさを守ろう

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 地区要望に基づき県交付金事業を活用して土地改良工事及び測量設計を実施する。また県営事業にて実施する東郷川頭首工・奥ため池及び谷奥ため池改修工事を行う。
【事業の効果】
 農業用施設の延命化、災害発生の未然防止、利便性の向上により生産活動を支援する。
【令和5年度評価】
 地区の要望に基づき土地改良事業を実施し、農業生産活動の支援と農地の維持を図った。

6. 財源の説明
【県補助金】10,799千円 **【地方債】**19,000千円 **【分担金】**2,990千円
【繰入金】ふるさと農村活性化基金6,000千円、ふるさと湯梨浜応援基金2,318千円
【一般財源】4,864千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	21,351	21,351
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	30	30	25 寄附金		
11 役務費	240	240	26 公課費		
12 委託料	1,800	1,800	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	22,550	22,550			
15 原材料費			合計	45,971	45,971

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401033	しっかり守る農林基盤交付金(10,680	9,110
都道府県支出金	15020401259	ため池防災減災対策推進事業費	119	89
分担金	12010101005	土地改良事業分担金	2,990	1,380
繰入金	18020601401	ふるさと農村活性化基金繰入金	6,000	3,400
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	2,318	3,620
地方債	21010401012	公共事業等債(河川応急事業)	1,000	900
地方債	21010401407	公共事業等債(農村地域防災減	18,000	4,700

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県しっかり守る農林基盤交付金		
補助基本額	補助率	補助金額	

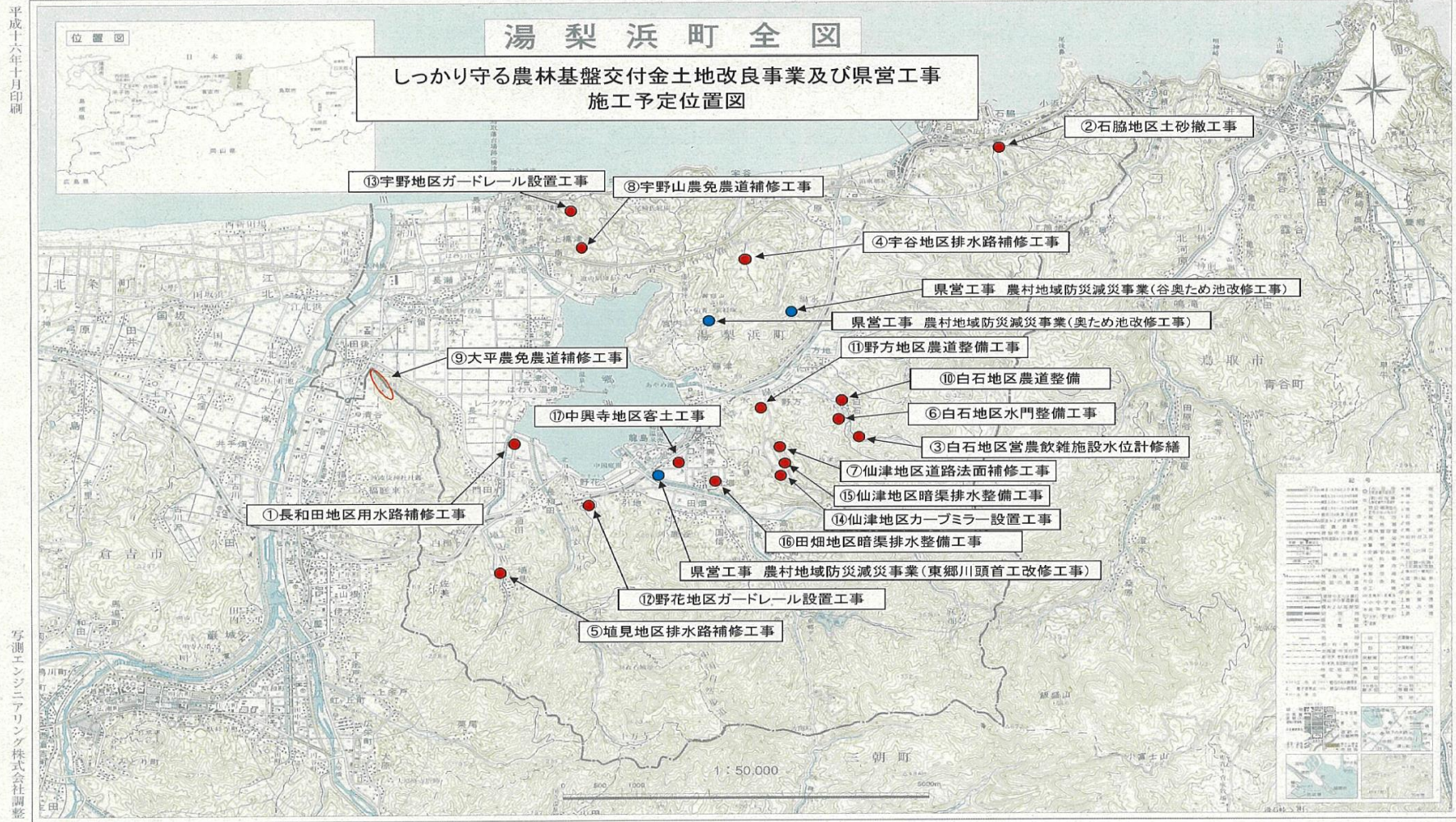
【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		

05款 01項 04目 005100000事業 土地改良事業

【事業名】 土地改良事業

119



117

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	05	農林水産業費	項	01	農業費	目	04	農地費
事業	大	0124 多面的機能支払交付金事業 (簡略番号：009751)						
	中							
	小							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続		臨・経	経常	
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	農一地一その他				

		所属	0101012200-0000		産業振興課 (農林水産)		
財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
	事業費	34,411	39,151	△4,740	39,151	31,752	
	国庫支出金						
	県支出金	25,856	29,419	△3,563	29,419		
	地方債						
	その他						
	一般財源	8,555	9,732	△1,177	9,732		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

1. 農地維持支払
 水路・農道等の地域資源の基礎的保全活動、地域資源の適切な保全管理のための推進活動

2. 資源向上支払
 共同：地域共同による施設の軽微な補修及び植栽等による農村環境保全活動
 長寿命化：老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための補修・更新等の活動
 R6取組予定組織数：広域活動組織1(13団体加入)、その他活動組織6 計7組織

【事業の必要性】

水路・農道等の管理を地域ぐるみで支え、多面的機能が今後も適切に維持・発揮されるために必要である。

【事業費】

本体事業費34,169千円 推進事業費242千円

2. 根拠法令

農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律
 多面的機能支払交付金実施要綱、同実施要領

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり(魅力とやりがいのある農林水産業)
【SDGs】 目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】
 活動組織が行う農地・水路等の保全活動や農道・水路等の長寿命化のための補修・更新の取組みを支援する。

【事業の効果】
 農業・農村の有する多面的機能の発揮が図られる。

【令和5年度評価】
 広域活動組織(13団体)を含む8組織に対して支援を行った。

6. 財源の説明

【県支出金】 25,856千円
【一般財源】 8,555千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	134	134	18 負担金、補助及び交付金	34,169	34,169
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	60	60	25 寄附金		
11 役務費	48	48	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	34,411	34,411

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401004	多面的機能支払交付金	25,856	29,419

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県多面的機能支払交付金(推進費除く)				
補助基本額	34,169	補助率	75.0%	補助金額	25,627

【実施計画】

実施 計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節 細節			

05款 01項 04目 012400000事業 多面的機能支払交付金事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 農地費
事業	大 0125 環境保全型農業直接支払交付金事業 (簡略番号：031359)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農一地一その他		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	245	249	△4	249	244
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	195	198	△3	198
	地方債				
	その他				
	一般財源	50	51	△1	51

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 化学合成肥料、化学合成農薬を県慣行基準値から原則5割以上低減する取組と合わせて以下の対象取組を行う環境に配慮した営農活動を支援する。
 対象取組：カバークロープの作付け、堆肥の施用等
 組織数：1 (原)
【事業の必要性】
 農業分野においても地球温暖化防止や生物多様性保全に積極的に貢献していくため、より環境保全に効果の高い営農活動を地域でまとまって取り組むために必要な支援である。
【事業費】
 本体事業195千円 推進事業50千円

2. 根拠法令
 農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律 (平成26年6月20日法律第78号)
 環境保全型農業直接支援対策実施要綱、同実施要領

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 にぎわいと活力のあるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
【SDGs】 目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 慣行栽培より農薬・化学肥料の使用量を5割以下にする取り組みを行う1組織を支援。
【事業の効果】
 農薬・化学肥料の使用量を低減することで、環境の改善につながることを期待できる。
【令和5年度評価】
 1組織に対して支援を行い、環境保全に効果の高い営農活動の展開に繋がっている。

6. 財源の説明
【県補助金】 195千円
【一般財源】 50千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	195	195
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	20	20	25 寄附金		
11 役務費	30	30	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	245	245

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401005	環境保全型農業直接支払交付金	195	198

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県環境保全型農業直接支払交付金 (推進費除く)				
補助基本額	195	補助率	75.0%	補助金額	146

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 04目 012500000事業 環境保全型農業直接支払交付金事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位: 千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 農地費	所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)	
事業	大	0126	中山間地域等直接支払交付金事業 (簡略番号: 034152)						
	中								
	小								
事業期間	令 6. 4. 1~令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常			
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定					
補助単独区分			目的区分	農一業一その他					

財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
		事業費	2,757	3,114	△357	3,114
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	2,080	2,345	△265	2,345	
	地方債					
	その他					
	一般財源	677	769	△92	769	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 農業生産条件の不利な中山間地域等において、集落等を単位に農用地を維持・管理する農業生産活動等に対して交付金を交付する。(4組織を予定)
【事業実施の必要性】
 中山間地域に広がる農地は全農地の4割を占め、食糧生産上、重要な地域であり、水源の涵養機能・洪水防止機能など多面的な機能を包括しており、保全を図る必要がある。
【事業費】
 本体事業費2,707千円 推進事業費50千円

2. 根拠法令
 農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律
 中山間地域等直接支払交付金交付要綱、同実施要綱
 湯梨浜町農林水産業間接補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり(魅力とやりがいのある農林水産業)
【SDGs】 目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 令和2年度より第5期対策を開始し、令和6年度までの5年間で活動実施予定。昨年度に引き続き、羽衣石、園、藤津の既存3集落に加え、令和3年度より新規取組を開始した仙津の4集落の農地保全活動及び共同活動を支援する。
【事業の効果】
 農地保全と合わせて水源涵養機能・洪水防止機能などを保持することが期待できる。
【令和5年度評価】
 4組織に対して支援を行い、農業生産活動の継続による農地の保全等が行われている。

6. 財源の説明
【県支出金】 2,080千円
【一般財源】 677千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	2,707	2,707
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	20	20	25 寄附金		
11 役務費	30	30	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	2,757	2,757

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401006	中山間地域等直接支払交付金	2,080	2,345

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県農地を守る直接支払交付金 (推進費除く)				
補助基本額	2,707	補助率	75.0%	補助金額	2,031

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 04目 012600000事業 中山間地域等直接支払交付金事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 農地費
事業	大 0150 東郷ダム管理負担金 (簡略番号：022785)				
中					
小					
細					
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農一他一その他		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)				
区分	事業費	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財源内訳	国庫支出金	7,368	12,116	△4,748	11,670	14,177
	県支出金					
	地方債	4,500	7,900	△3,400	9,000	
	その他	926	1,713	△787	1,066	
	一般財源	1,942	2,503	△561	1,604	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 県が管理する東郷ダムの管理負担金。日常の点検、保守のほか計画的に施設の更新・修繕が実施されており、令和6年度も引き続き主要施設であるダム管理用制御処理施設を更新するための負担金です。

【事業の必要性】
 制御処理設備はダムの流水管理に関わる演算処理や放流設備の操作を行う主要設備であり、放流設備を操作規則に基づき確実に操作するため必要である。

【事業費】
 R6当初相当分事業費 100,930,677円×7.3%≒7,367,939円
 ※負担割合は協定書に県92.7%、町7.3%と定められている。

2. 根拠法令
 東郷ダム管理に関する協定書 (H16.3.12締結)

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業) SDGs目標 15 陸の豊かさを守ろう

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】
 経常的な管理運営に関する経費に加え、主要施設であるダム管理用制御処理設備更新に関する経費を負担する。

【事業の効果】
 東郷ダムの適正な管理により流域の洪水調節、かんがい用水、既得取水の安定化と河川環境の保全を図る。

【令和5年度評価】
 設備更新のための詳細設計業務等に係る事業費負担を行い適正な管理を図った。

6. 財源の説明

【地方債】 4,500千円
【繰入金】 ふるさと湯梨浜応援基金 926千円
【一般財源】 1,942千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	7,368	7,368
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	7,368	7,368

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	926	1,713
地方債	21010401013	公共事業等債 (治水)	4,500	7,900

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 04目 015000000事業 東郷ダム管理負担金

歳出予算事業概要書

(単位: 千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 農地費	所属	0101012200-0000 産業振興課 (農林水産)		
事業	大	0284 農地耕作条件改善事業	(簡略番号: 035141)						
	中								
	小								
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時			
経費区分	經常的経費		事業の種類	未設定					
補助単独区分			目的区分	農一 地一 農業農村整備					

財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
		事業費	8,000	66,300	△58,300	19,631
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	6,000	49,725	△43,725	12,225	
	地方債	1,400		1,400	2,800	
	その他	400	3,315	△2,915	4,145	
	一般財源	200	13,260	△13,060	461	

【事業概要】

- 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 町内の農業生産活動をより活発化するために、国庫補助事業による農業基盤整備工事を実施し耕作条件の向上による営農活動の維持発展を図る。
 補助率 県75% (うち国55%)、町20%、地元負担5%

【事業の必要性】
 耕作条件の改善を図り、農業者の営農意欲の向上、経営安定化を進める。併せて経営環境の改善を図り、担い手への農地集積を図る。

【事業費】
 長江地区農道改良工事(2工区) 8,000千円
- 根拠法令
 農地耕作条件改善事業実施要領
- 用地の状況
 事業地区において中間管理事業を活用し、個人農地の担い手への集約化を図る。
- 基本計画との関連
 【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業) SDGs目標 17 陸の豊かさを守ろう
- 本年度の計画効果
 【本年度の計画】
 長江地区の道路施設の機能向上による整備により耕作条件を改善するため、中間管理事業の農地貸借調整のうえ有利な補助事業により整備を実施する。
【事業の効果】
 耕作条件を改善し、農地の効率的利用を図り、営農活動の継続・意欲向上につなげる。
【令和5年度評価】
 耕作条件を改善し、農地の効率的利用を図り、営農活動の継続・意欲向上につながった。
- 財源の説明
 【県補助金】 6,000千円
 【分担金】 400千円
 【地方債】 1,400千円
 【一般財源】 200千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費	
02 給料			17 備品購入費	
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	
04 共済費			19 扶助費	
05 災害補償費			20 貸付金	
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金	
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料	
08 旅費			23 投資及び出資金	
09 交際費			24 積立金	
10 需用費			25 寄附金	
11 役務費			26 公課費	
12 委託料			27 繰出金	
13 使用料及び賃借料			予備費	
14 工事請負費	8,000	8,000		
15 原材料費			合計	8,000 8,000

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401255	農地耕作条件改善事業費補助金	6,000	49,725
分担金	12010101404	農地耕作条件改善事業地元負担	400	3,315
地方債	21010402002	一般補助施設整備等事業債 (農	1,400	

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県土地改良事業費補助金 (農地耕作条件改善事業)		
補助基本額	8,000	補助率	75.0%
		補助金額	6,000

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

05款 01項 04目 028400000事業 農地耕作条件改善事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計

現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 農地費
事業	大 0293 畑作等促進整備事業 (簡略番号：044546)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分	補助事業	目的区分	農一 地一 農業農村整備		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)				
区分	事業費	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財源内訳	国庫支出金	150,000		150,000	50,000	
	県支出金	123,750		123,750	41,250	
	地方債	23,600		23,600	7,800	
	その他					
	一般財源	2,650		2,650	950	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
町内の高収益作物導入により畑作生産活動をより活発化するために、国庫補助事業による農業基盤整備工事を実施し営農活動の維持発展を図る。
令和5年度の国の新規事業により畑作に特化した補助内容により水田及び保全農地を整備し、高収益作物への変換を図ることで、農業者の営農意欲の向上、経営安定化を進める。
対象事業：今滝梨団地整備事業(令和5年度から7年度:3か年事業)
補助率 国65%、県17.5%、町17.5%、地元負担0%

【事業の必要性】 町特産の二十世紀梨栽培の生産維持及び高収益作物栽培拡大

【事業内容】 今滝梨団地整備事業工事請負費 150,000千円
○事業場所：北福・漆原地内 ○事業実施区域面積 3.5ha(内果樹栽培面積2.5ha)
○令和6年度工事内容：区画整理・用排水路整備、土層改良等

2. 根拠法令
畑作等促進整備事業実施要綱・要領

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
SDGs目標 17 陸の豊かさを守ろう

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
実施設計及び区画整理を実施し、高収益作物が栽培可能で省力化・効率化が図れる畑作に特化した基盤への変換を行う。
【事業の効果】
高収益作物導入のための基盤整備を実施し、営農活動の継続・意欲向上につなげる。
【令和5年度評価】
実施設計及び一部区画整備工事に着手した。

6. 財源の説明
【県補助金】 123,750千円
【地方債】 23,600千円
【一般財源】 2,650千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	150,000	150,000			
15 原材料費			合計	150,000	150,000

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401445	畑作等促進整備事業交付金	123,750	
地方債	21010402001	一般補助施設整備等事業債(畑)	23,600	

【補助金】

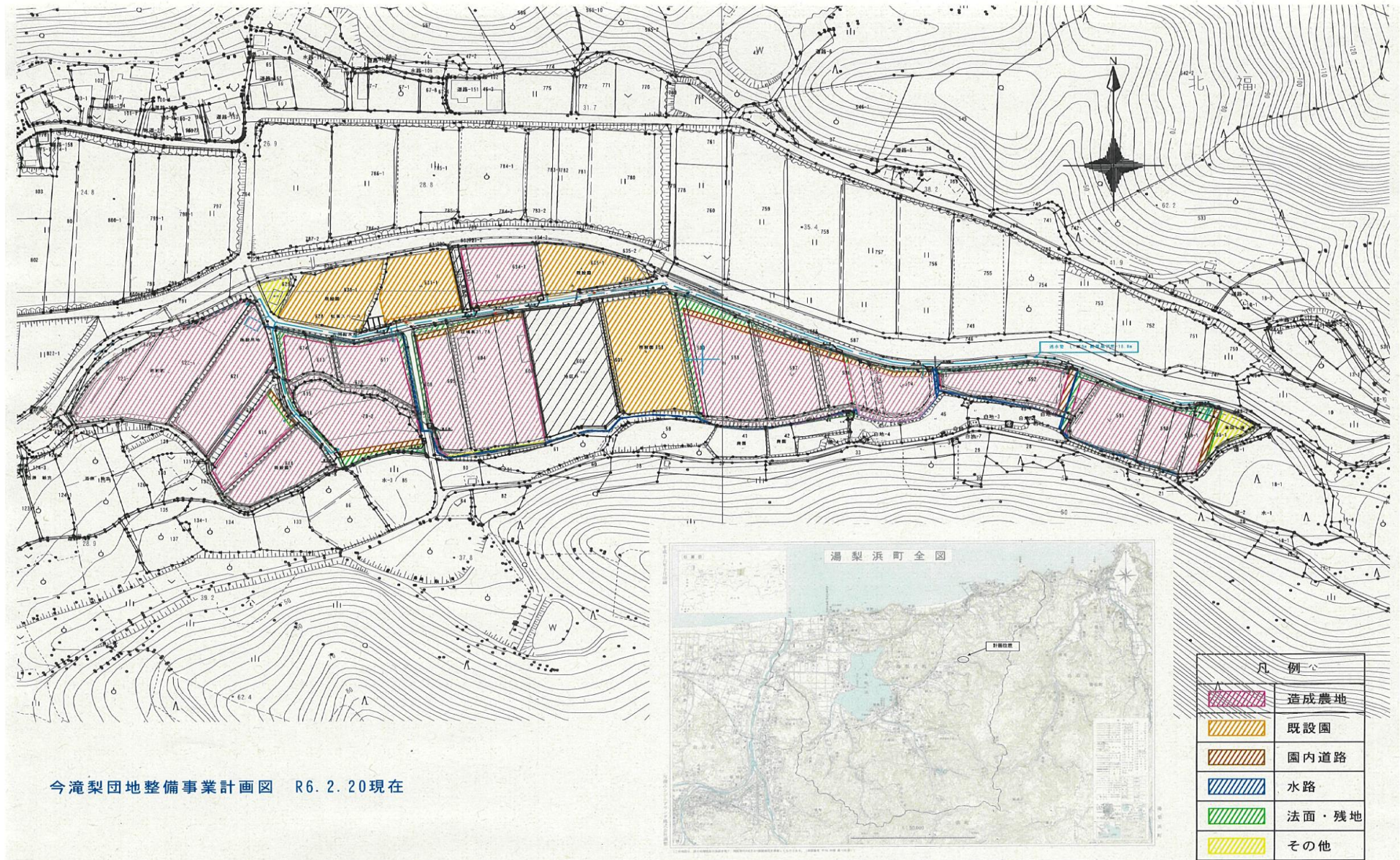
補助金等の名称	鳥取県土地改良事業費補助金(畑作等促進整備事業)				
補助基本額	150,000	補助率	82.5%	補助金額	123,750

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 04目 029300000事業 畑作等促進整備事業

【事業名】 畑作等促進整備事業



今滝梨団地整備事業計画図 R6.2.20現在

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	05	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農業施設管理費
事業	大	0209	活性化センター管理臨時経費	(簡略番号：036224)				
事業	中							
事業	小							
事業	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	農一業一農業農村整備			

区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	8,386	2,726	5,660	2,726	1,386
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債		2,500	△2,500	2,500
	その他				
一般財源	8,386	226	8,160	226	

【事業概要】

- 事業の概要と必要性
 - 【事業概要】**
活性化センターはまなすの施設運営に係る維持管理経費。
 - 【事業の必要性】**
各種工事と修繕を実施することで、安全で快適な施設の提供を行う必要がある。
空調機修繕110千円、多目的ホールエアコン取替工事7,480千円
高圧コンデンサ取替工事・PCB廃棄処理費796千円
- 根拠法令
湯梨浜町農産物加工等施設の設置及び管理に関する条例
湯梨浜町農産物加工等施設の設置及び管理に関する条例施行規則
- 用地の状況
- 基本計画との関連
【第4次総合計画】「にぎわいと活力あるまちづくり」(魅力とやりがいのある農林水産業)
SDGs目標12 「つくる責任つかう責任」
- 本年度の計画効果
 - 【事業計画】**
各種工事と修繕を実施し、安全で快適な施設の提供を行う。
 - 【事業効果】**
施設を快適に使用いただくことで、地域住民の連帯感の醸成が図られる。
 - 【令和5年度評価】**
安全で快適な施設の提供を行った。
- 財源の説明
【一般財源】8,386千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	110	110	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	8,276	8,276			
15 原材料費			合計	8,386	8,386

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称	補助基本額	補助率	補助金額

【実施計画】

実施計画	部	章	節	細節	実施計画計上額

05款 01項 06目 020900000事業 活性化センター管理臨時経費

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費
事業	大 0024 竹林対策事業 (簡略番号：022742)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定	補助単独区分	
		目的区分	農-林-その他		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	28,741	23,305	5,436	23,305	7,620
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	25,472	20,521	4,951	20,521
	地方債				
	その他	3,269	2,784	485	2,784
	一般財源				

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 放置竹林対策のためタケノコ生産等に関する講習会の開催、景観保全のための樹種転換事業の支援及び森林整備をするとともに県補助事業を活用した竹林整備事業の推進を図る。
【事業の必要性】
 樹園地などの耕作放棄地に拡大している放置竹林は、森林としての保水力の低下や景観を損ねるほか、有害鳥獣被害拡大の原因ともなっており、対策を進める必要がある。
【事業費】
 竹林整備事業補助27,160千円 東郷湖周辺景観保全事業ほか1,463千円 タケノコ生産啓発関連・放置竹林対策協議会118千円 計28,741千円
 2. 根拠法令
 鳥取県森林環境保全税関連事業費補助金交付要綱
 竹林整備事業実施要領
 湯梨浜町農林水産業間接補助金交付要綱
 3. 用地の状況
 4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
 SDGs目標 15 陸を豊かさを守ろう
 5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 森林環境譲与税を活用したタケノコ生産に関する講習会の開催、景観保全のための樹種転換に対する支援を行うとともに、県補助事業を活用した竹林整備事業の支援を行う。
【事業の効果】
 森林機能や景観の保全、竹の有効活用による持続的な産業振興につなげる。
【令和5年度評価】
 竹林整備事業を支援し景観や森林機能の保全が図られた。
 6. 財源の説明
【県支出金】 25,472千円
【繰入金】 3,269千円 (森林環境譲与税繰入金)

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	20	20	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	27,160	27,160
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	36	36	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	3	3	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	49	49	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	1,463	1,463	27 繰入金		
13 使用料及び賃借料	10	10	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	28,741	28,741

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020402009	森林環境保全税関連事業費(竹)	25,472	20,521
繰入金	18020701001	森林整備基金繰入金	3,269	2,784

【補助金】

補助金等の名称	森林環境保全税関連事業費補助金		
補助基本額	30,522	補助率	補助金額 25,472

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

05款 02項 02目 002400000事業 竹林対策事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計

現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費
事業	大 0123 鳥獣被害総合対策事業 (簡略番号：010525)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1~令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農・林・その他		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	13,683	15,026	△1,343	15,026	8,771
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	6,747	7,889	△1,142	7,889
	地方債				
	その他				
一般財源	6,936	7,137	△201	7,137	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
町内で発生、拡大している有害鳥獣の農作物被害を減少させるため、侵入防止施設の整備助成や有害鳥獣捕獲の推進を図る。

【事業の必要性】
イノシシをはじめとする有害鳥獣による農作物被害が拡大しており、営農意欲の減退や離農の加速も懸念されるため対策を積極的に推進する必要がある。

【事業費】
捕獲出役報償金763千円 有害鳥獣捕獲奨励金6,303千円 消耗品費20千円 狩猟免許取得更新助成等184千円 スマート捕獲導入補助450千円 町鳥獣被害対策協議会補助金410千円 侵入防止施設の設置補助5,553千円 合計13,683千円

◆(新規)スマート捕獲導入補助 通信端末(センサーより捕獲確認)導入支援
通信端末 限度額1台当たり45,000円(税別)×1/2(補助率)×20人(想定)=450,000円
条件:1人1台に限る

2. 根拠法令
鳥取県鳥獣被害防止総合対策交付金交付要綱
湯梨浜町農林水産業間接補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
SDGs目標 15 陸の豊かさを守ろう

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
電気柵やワイヤーメッシュ等侵入防止施設の整備助成や捕獲檻購入助成、捕獲従事者の資格取得支援、捕獲奨励金事業を実施する。
【事業の効果】
防護柵の設置や有害鳥獣捕獲を支援し、農作物被害の減少、営農意欲の維持向上を図る。
【前年度評価】
有害鳥獣捕獲及び電気柵やワイヤーメッシュの設置助成等により農業被害防止に努めた。

6. 財源の説明
【県支出金】6,747千円 **【一般財源】**6,936千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	763	763	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	6,597	6,597
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	6,303	6,303	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	20	20	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	13,683	13,683

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020402409	鳥獣被害総合対策事業補助金	6,747	7,889

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県鳥獣被害総合対策事業補助金			
補助基本額	14,819	補助率		補助金額
				6,748

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 02項 02目 012300000事業 鳥獣被害総合対策事業

【事業名】 鳥獣被害総合対策事業

【事業概要等】有害鳥獣捕獲奨励金について、国交付金・県補助金を活用し、個体数の適正化を図り、農業被害防止を行う。財源としては国交付金(緊急捕獲活動経費)を活用し、町のお金と併給。

【イノシシ支給金(猟期外)】 (単位:円)

区分	令和5年度 支給額	内訳			令和6年度 支給額	内訳		
		国交付金	捕獲奨励金			国交付金	捕獲奨励金	
			県	町			県	町
成獣 (ジビエ)	14,000	9,000			14,000	9,000		
成獣 (焼却等)	13,000	8,000	2,500	2,500	13,000	8,000	2,500	2,500
成獣 (その他)	12,000	7,000			12,000	7,000		
幼獣	12,000	1,000	3,500	7,500	12,000	1,000	3,500	7,500

【シカ支給金(猟期外)】 (単位:円)

区分	令和5年度 支給額	内訳			令和6年度 支給額	内訳		
		国交付金	捕獲奨励金			国交付金	捕獲奨励金	
			県	町			県	町
成獣 (ジビエ)	19,000	9,000			19,000	9,000		
成獣 (焼却等)	18,000	8,000			18,000	8,000		
成獣 (その他)	17,000	7,000			17,000	7,000		
幼獣	11,000	1,000	5,000	5,000	11,000	1,000	5,000	5,000

【イノシシ支給金(猟期)】 (単位:円)

区分	令和5年度 支給額	内訳			令和6年度 支給額	内訳		
		国交付金	捕獲奨励金			国交付金	捕獲奨励金	
			県	町			県	町
成獣 (ジビエ)	14,000	9,000			14,000	9,000		
成獣 (焼却等)	13,000	8,000	0	5,000	13,000	8,000	0	5,000
成獣 (その他)	12,000	7,000			12,000	7,000		
幼獣	12,000	1,000	0	11,000	12,000	1,000	0	11,000

【シカ支給金(猟期)】 (単位:円)

区分	令和5年度 支給額	内訳			令和6年度 支給額	内訳		
		国交付金	捕獲奨励金			国交付金	捕獲奨励金	
			県	町			県	町
成獣 (ジビエ)	14,000	9,000			14,000	9,000		
成獣 (焼却等)	13,000	8,000			13,000	8,000		
成獣 (その他)	12,000	7,000	2,500	2,500	12,000	7,000	2,500	2,500
幼獣	6,000	1,000			6,000	1,000		

【その他支給金】 (単位:円)

区分	令和5年度 支給額	内訳			令和6年度 支給額	内訳		
		捕獲奨励金				捕獲奨励金		
		国	県	町		国	県	町
ヌートリア	3,000	—	1,500	1,500	3,000	—	1,500	1,500
アライグマ	10,000	—	5,000	5,000	10,000	—	5,000	5,000

(新規) スマート捕獲導入補助金

鳥獣被害防止を図るため通信端末等を活用し、鳥獣捕獲許可者の見回りの省力化や檻、くくり罠等の遠隔操作による捕獲確認等による省力化を推進する。

○通信端末(センサーにより捕獲確認)導入支援

・1台当たり補助対象限度額 45,000円(税抜き) ・補助率 1/2
条件:1人1台に限る

※令和6年度予算要求額 45,000円×1/2×20人(想定)=450,000円

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費
事業	大 0252 森林経営管理事業 (簡略番号：039130)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1~令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農・林・その他		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)				
区分	事業費	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財源内訳	国庫支出金	3,075	3,904	△829	3,904	3,300
	県支出金					
	地方債					
	その他	3,075	3,904	△829	3,904	
	一般財源					

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 森林経営管理法に基づき、森林管理の意向に関する調査を実施し、経営や管理を任せたい申し出があった森林について経営管理集積計画を定め、町が経営管理権の設定を受ける。町は該当森林のうち林業経営に適した森林については林業経営者に経営管理実施権を設定し、森林経営計画に基づく適切な経営管理に結び付ける。林業経営に適さない森林については、町が森林経営管理事業を実施し、請負による強度間伐等適切な森林管理を行う。

【事業の必要性】
 森林経営管理法に基づき、森林所有者へ意向調査の実施及び前年度意向調査実施地区において集積計画の作成を行い、林業の効率化及び森林管理の適正化を図る。

【事業費】
 意向調査及び森林経営管理権集積計画策定業務委託料 3,075千円

2. 根拠法令
 森林経営管理法
 森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業) SDGs目標 15 陸の豊かさを守ろう

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 森林所有者への意向調査の実施 (宮内・藤津) 69ha
 前年度意向調査実施地区の現地調査 (宇野区) 27.9ha、集積計画作成 (宇野区) 5.0ha
【事業の効果】
 適切な経営管理が行われていない森林を、法的な権利設定により、適切な経営管理に移行できるよう進める。
【令和5年度評価】
 宇野地区の69.0haにおいて森林所有者への意向調査を実施した。
 宇谷地区の47.29haにおいて森林調査を行い、集積計画の策定を行った。

6. 財源の説明
【繰入金】 3,075千円 (森林環境譲与税繰入金)

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	3,075	3,075	27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合計	3,075	3,075
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18020701001	森林整備基金繰入金	3,075	3,904

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

05款 02項 02目 025200000事業 森林経営管理事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位: 千円)

款	05	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
事業	大	0305 保安林危険木伐採事業 (簡略番号: 043751)						
	中							
	小							
事業期間	令 6. 4. 1~令 7. 3. 31		新規・継続	継続		臨・経	臨時	
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	農・林・その他				

		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財 源 内 訳	事業費	300	300		300	132
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	300	300		300	
	一般財源					

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業概要】
 民家、道路等に隣接して介在する保安林及び急傾斜地崩壊危険区域について、伐採規制等により繁茂し、倒木の恐れがある樹木等から住民の生命・財産を守ることを目的とし、危険木の伐採に係る費用について補助金を交付する。
 保安林を管理する行政区及び個人に対し、適正な状態を維持するため伐採・撤去費用の3分の2を助成する(補助上限30万円)。

【事業の必要性】
 保安林の持つ公益的機能を維持するとともに、安心安全な生活を確保する。

【事業費】
 補助金 300千円 (伐採・撤去費用×2/3、補助上限30万円) 指定区域1箇所を想定

2. 根拠法令
 湯梨浜町保安林危険木伐採事業補助金交付要綱

3. 用地の状況
 保安林(民有地)

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり(魅力とやりがいのある農林水産業) SDGs目標 15 陸の豊かさを守ろう

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 保安林・急傾斜地崩壊危険区域各1地区の危険木伐採費用に対し補助金を交付する。
【事業の効果】
 保安林等の持つ公益的機能の維持及び安心安全な生活の確保。
【令和5年度評価】
 急傾斜地崩壊危険区域の持つ公益的機能を維持し安心安全な生活の確保を図った。

6. 財源の説明
【繰入金】300千円(森林環境譲与税繰入金)

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	300	300
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合計	300	300
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18020701001	森林整備基金繰入金	300	300

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施 計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 02項 02目 030500000事業 保安林危険木伐採事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計

現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	03 水産業費	目	01 水産業振興費
事業	大 0131 沿岸漁業活性化推進事業 (簡略番号：031340)	新規・継続	継続	臨・経	臨時
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31				
経費区分	經常的経費				
補助単独区分	目的区分 農一水一その他				

区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	750	1,000	△250	1,000	495
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	750	1,000	△250	1,000

【事業概要】	
1. 事業の概要と必要性	
【事業の概要】 水産業全般が低迷する中で、引き続き燃油高騰対策として輸送費コスト支援することにより漁業の活性化を図る。	
【事業の必要性】 生産意欲と収入の向上に繋げ漁業の活性化を図る。	
【事業費】 全体事業費1,500千円(15,000箱)×1/2=750千円	
2. 根拠法令 湯梨浜町沿岸漁業活性化推進事業補助金	
3. 用地の状況	
4. 基本計画との関連 【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり(魅力とやりがいのある農林水産業) 【地方創生総合戦略】基本目標Ⅰ 活気ある元気なまち(農林水産業の振興) SDGs 目標14「海の豊かさを守ろう」	
5. 本年度の計画効果 【本年度の計画】 15,000箱の出荷運賃経費(1箱100円)の一部を補助する。 【事業の効果】 輸送費コスト支援することにより漁業の活性化が図られる。 【令和5年度評価】 輸送経費補助により漁業者の生産意欲の向上に繋がった。	
6. 財源の説明 【一般財源】750千円	

【事業費内訳】					
節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	750	750
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合計	750	750
15 原材料費					

【特定財源の内訳】				
財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】	
補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】			
実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

05款 03項 01目 013100000事業 沿岸漁業活性化推進事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位: 千円)

款	05	農林水産業費	項	03	水産業費	目	01	水産業振興費
事業	大	0255 がんばる養殖支援事業 (簡略番号: 045089)						
	中							
	小							
事業期間	令 6. 4. 1~令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	未設定		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	農一水一その他				

		所属	0101012200-0000		産業振興課 (農林水産)		
財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
	事業費	3,550		3,550			
	国庫支出金						
	県支出金	2,366		2,366			
	地方債						
	その他						
	一般財源	1,184		1,184			

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 意欲的な養殖事業者等が実施する生産量増大及び経営強化の取組を支援し、地域養殖及び水産物供給の安定化を図る。

【事業の必要性】
 県制度を活用し、意欲ある養殖事業者の経営安定化を支援することで、地域養殖及び水産物供給の安定化を図る必要がある。

【事業費】
 事業主体: 湯梨浜振興 ※ヒラメの成長促進及び新たに「ギンザケ・ニジマス」の井戸海水養殖に取り組み生産量、生産額向上と継続を図る事業への支援。
 事業内容: 成長促進用LED、サケ・マス類飼育設備、水温調整・水量確保用井戸整備
 対象事業費: 7,100千円
 補助率: 1/2 (県1/3、町1/6) 補助金: 3,550千円

2. 根拠法令
 がんばる養殖支援事業実施要綱
 がんばる養殖支援事業費補助金交付要綱
 湯梨浜町農林水産業間接補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
 【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
 SDGs 目標14「海の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
 【本年度の計画】
 養殖事業者の施設整備に係る経費を支援する。
 【事業の効果】
 意欲的な養殖事業者の施設整備を支援することで、地域の養殖及び水産物供給の安定化を図る。

6. 財源の説明
 【県支出金】 2,366千円
 【一般財源】 1,184千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	3,550	3,550
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	3,550	3,550

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020403414	がんばる養殖支援事業補助金	2,366	

【補助金】

補助金等の名称	がんばる養殖支援事業費補助金				
補助基本額	7,100	補助率	33.3%	補助金額	2,366

【実施計画】

実施 計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 03項 01目 025500000事業 がんばる養殖支援事業

【事業名】 がんばる養殖支援事業

【事業概要等】

■事業の目的、概要

意欲的な養殖事業者等が実施する新たな施設・機械整備、省力化等の取組みを支援することで、地域養殖の発展及び水産物供給の安定化を図る。(最大3年間)

■補助率

1/2 (県1/3、町1/6)

■事業実施主体

湯梨浜振興合同会社

平成27年度から泊漁港内の敷地で井戸海水による陸上養殖場でヒラメを生産しているが、近年は新型コロナウイルスの影響による販売量の減少や、水温上昇に伴う成長不良により、養殖業が低迷。これらの課題解決に向けて必要な設備を導入することで経営の安定化を図る。

■事業内容

ヒラメの成長促進に取り組むと共に、ギンザケとニジマスの養殖業を新たに開始することで養殖事業全体の生産量及び生産額の向上と継続を図る。併せて光熱費対策を行うことで経費を削減し、経営の安定化を図る。

年度		R6	R7	R8
事業費		7,100,000円	8,000,000円	8,000,000円
補助金		3,550,000円 (県2,366,000円、町1,184,000円)	4,000,000円 (県2,666,000円、町1,334,000円)	4,000,000円 (県2,666,000円、町1,334,000円)
事業内容	ヒラメ	成長促進用LEDを設置(水槽5基分)。	成長促進用LEDを設置(水槽5基分)。	
	ギンザケ・ニジマス	<ul style="list-style-type: none"> トラックから直接水槽に稚魚を搬入できるよう、搬入スペース及び搬入口を整備。 既存井戸を改良するとともに新たに深井戸を設置することで、水温及び水量の安定化を図る。 飛び出し防止用ネットを設置。 	飼育用水槽2基、選別用水槽3基を設置。	<ul style="list-style-type: none"> 水槽の改良、ポンプとブローの補強を実施。 配水調整設備を設置し、深井戸と浅井戸の水を合わせて使用することで、細かな水温調整が可能となり、ニジマス及びギンザケの通年出荷を目指す。
	共通		太陽光パネルを設置(光熱費対策)。	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光パネルを設置(光熱費対策)。 養殖棟の屋根及び壁部に遮熱材を設置し、水温の上昇を防ぐ。

■事業スキーム

- ①養殖事業者が現状抱えている課題や課題解決に向けた施設・設備の整備計画、生産量及び収益の目標等を記載したがんばる養殖プランを作成。
- ②外部審査員を加えた「がんばる養殖プラン審査会」において、採択を受ける。
- ③採択されたプランの整備計画に基づいて事業を実施。

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	03 水産業費	目	02 漁港施設管理費
事業	大 0212 羽合漁港施設管理臨時経費 (簡略番号：038310)				
事業	中				
事業	小				
事業	細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農一水一その他		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	6,486	6,027	459	6,027	5,959
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	2,675	2,692	△17	2,692
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,811	3,335	476	3,335

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 羽合漁港の適切な管理のために施設内の浚渫砂を羽合漁港管理海岸へ搬出し、海岸浸食対策を講ずる。
【事業の必要性】
 羽合漁港の適切な管理として、浚渫砂を羽合漁港内の海岸浸食箇所に運搬養浜することで海岸浸食を防止する。
【事業費】
 羽合漁港浚渫砂サンドリサイクル工事 6,485,600円
 ・養浜予定量1200㎡・浚渫予定量800㎡
 2. 根拠法令
 湯梨浜町羽合漁港管理条例
 湯梨浜町羽合漁港管理条例施行規則
 3. 用地の状況
 4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
 SDGs目標 14 海の豊かさを守ろう
 5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 羽合漁港施設内浚渫砂を管理区域内海岸へ運搬養浜する。
【事業の効果】
 羽合漁港施設及び管理区域内海岸域の適正管理
【令和5年度評価】
 羽合漁港施設等の適正管理をおこなった
 6. 財源の説明
【県補助金】 2,675千円
【一般財源】 3,811千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	6,486	6,486			
15 原材料費			合計	6,486	6,486

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401443	鳥取県サンドリサイクル協働連	2,675	2,692

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県サンドリサイクル交付金				
補助基本額	5,352	補助率	50.0%	補助金額	2,675

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 03項 02目 021200000事業 羽合漁港施設管理臨時経費

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

款	05	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	漁港施設管理費
事業	大	0213	羽合漁港区域漂着物等処理事業		(簡略番号：029613)			
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	未設定		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	農一水一その他				

所属		0101012200-0000		産業振興課（農林水産）	
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	20,010	1,010	19,000	3,573	437
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	14,000	700	13,300	2,494
	地方債				
	その他				
	一般財源	6,010	310	5,700	1,079

【事業概要】	
1.	事業の概要と必要性 【事業の概要】 海岸漂着物等の処理等の推進に関する法律制定により、海岸・漁港管理者が行うこととなり、町管理部分として羽合漁港区域を町民課と連携して実施する。 【事業の必要性】 海岸の清掃活動を実施することにより環境美化、美しい風景が保たれる。 事業費 ○通常：清掃活動委託費 1,000千円 ○令和5年豪雨災害に伴う海岸漂着物処理委託費 19,000千円
2.	根拠法令 地域環境保全対策費補助金（海岸漂着物等地域対策推進事業）交付要綱 鳥取県海岸漂着物処理事業補助金交付要綱
3.	用地の状況
4.	基本計画との関連 【第4次湯梨浜町総合計画事業】 「にぎわいと活力あるまちづくり」（魅力とやりがいのある農林水産業）SDGs目標 14 海の豊かさを守ろう
5.	本年度の計画効果 【事業の効果】 継続的に清掃活動を行い、適切に処理することにより環境美化・美しい風景が保たれる。 事業費 20,000千円 対象事業費 補助率 補助金 20,000千円×7/10=14,000千円 【令和5年度評価】 継続的に清掃活動をすることにより、羽合漁港区域内の環境美化に努めることができた。
6.	財源の説明 【県補助金】 14,000千円 【一般財源】 6,010千円

【事業費内訳】					
節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01			16		
02			17		
03			18		
04			19		
05			20		
06			21		
07			22		
08			23		
09			24		
10	10	10	25		
11			26		
12	20,000	20,000	27		
13					
14					
15			合計	20,010	20,010

【特定財源の内訳】				
財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020403402	海岸漂着ごみ等処理事業補助金	14,000	700

【補助金】					
補助金等の名称	鳥取県海岸漂着物処理事業補助金				
補助基本額	20,000	補助率	70.0%	補助金額	14,000

【実施計画】			
実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

05款 03項 02目 021300000事業 羽合漁港区域漂着物等処理事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
事業	大 0050 企業拡充奨励金 (簡略番号：029488)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	商-その他		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	1,789	2,107	△318	2,107	2,343
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	1,245	1,120	125	1,470
	一般財源	544	987	△443	637

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 事業規模の拡大のため、施設の増設や移設を行う町内事業者に対し、新たに賦課される固定資産税額相当額の奨励金を3カ年交付する。(限度額 1年度につき1千万円)
【事業の必要性】
 施設の増設や移設を行った町内事業者に奨励金を交付することで、町の産業経済の振興発展を進めるために必要である。
【事業費】
 補助金 1,789千円 (1事業者)

2. 根拠法令
 湯梨浜町中小企業・小規模企業振興基本条例
 湯梨浜町がんばる企業応援条例
 湯梨浜町がんばる企業応援条例施行規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 「にぎわいと活力あるまちづくり」 (商工業の振興)
 SDGs 目標 9 「産業と技術革新の基盤をつくろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 対象事業者に奨励金を交付する。施設の増設や移設を検討している町内事業者の支援につなげる。
【事業の効果】
 対象事業者の負担軽減を図る。町内での移設や増設などのための設備投資を促進させる。
【令和5年度の評価】
 対象2事業者に奨励金を交付して負担軽減を図った。

6. 財源の説明
【繰入金】 ふるさと湯梨浜応援基金繰入金 1,245千円
【一般財源】 544千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	1,789	1,789
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	1,789	1,789

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	1,245	1,120

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

06款 01項 02目 005000000事業 企業拡充奨励金

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費	所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
事業	大	0051 企業立地奨励金	(簡略番号：033305)			区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	中					財源内訳	921	3,452	△2,531	3,227	3,148
小					国庫支出金						
細					県支出金						
事業期間	令 6. 4. 1~令 7. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	臨時		地方債				
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定				その他				
補助単独区分		目的区分	商一その他			一般財源	921	3,452	△2,531	3,227	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 町内に事業所を新設する事業者に対し、新たに賦課される固定資産税額相当額の奨励金を3カ年交付する。(限度額 1年度につき1千万円)
 (補助率)①投資額3千万円以上、新規雇用10名以上:10/10 ②投資額3千万円以上、新規雇用4名以上9名以下:2/3 ③投資額3千万円以上、新規雇用3名以下:1/2 ④投資額1千万円以上、申請日以前から町内に住所を有する者:10/10

【事業の必要性】
 事業所の新設を行った事業者に奨励金を交付することで、町の産業経済の振興発展を進めるために必要である。

【事業費】
 補助金 921千円(②事業者2、③事業者1)

2. 根拠法令
 湯梨浜町中小企業・小規模企業振興基本条例
 湯梨浜町企業立地促進条例
 湯梨浜町企業立地促進条例施行規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】「にぎわいと活力あるまちづくり」(商工業の振興)
 SDGs 目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 対象事業者に奨励金を交付する。町内に事業所の新設を検討している事業者の支援につなげる。
【事業の効果】
 対象事業者の負担軽減を図る。町内での事業所の新設のための設備投資を促進させる。
【令和5年度の評価】
 対象4事業者に奨励金を交付して負担軽減を図った。また新規で対象事業者に1事業者を指定した。

6. 財源の説明
【一般財源】 921千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	921	921
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合計	921	921
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額
実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
事業	大 0055 チャレンジショップ支援奨励金 (簡略番号：032327)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	商-その他		

所属	0101012100-0000		産業振興課 (商工観光)		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	708	900	△192	1,030	950
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	493	479	14	719
	一般財源	215	421	△206	311

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 町内の空き店舗や空き家を活用して創業する事業者に対し、その賃借料の1/2の奨励金を12カ月交付する。(月額5万円限度)

【事業の必要性】
 対象事業者に奨励金を交付することで、町内の商工業の振興と活性化を進めるために必要である。

【事業費】
 補助金 708千円 (継続分2件、新規1件見込む)

2. 根拠法令
 湯梨浜町中小企業・小規模企業振興基本条例
 湯梨浜町チャレンジショップ支援奨励金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】「にぎわいと活力あるまちづくり」(商工業の振興)
【地方創生総合戦略】基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち(商工業の振興)
 SDGs 目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 対象事業者に奨励金を交付する。空き家や空き店舗を活用した創業を検討している事業者の支援につなげる。
【事業の効果】
 対象事業者の負担軽減を図る。町内での空き家や空き店舗を活用した創業を促進させる。
【令和5年度の評価】
 対象3事業者に奨励金を交付して負担軽減を図った。

6. 財源の説明
【繰入金】 ふるさと湯梨浜応援基金繰入金 493千円
【一般財源】 215千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	708	708
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合計	708	708
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	493	479

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

06款 01項 02目 005500000事業 チャレンジショップ支援奨励金

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
事業	大 0274 雇用促進奨励金 (簡略番号：032064)	中		小	
事業期間	令 6. 4. 1~令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	商-その他		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	800	800			
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	189	168	21	
	地方債				
	その他				
一般財源	611	632	△21		

【事業概要】	
1. 事業の概要と必要性	
<p>【事業の概要】 町内在住のシニア世代、就職氷河期世代、子育て世代の女性、移住定住者を常用労働者として雇用する町内事業者に対し、6か月以上雇用した場合に奨励金を交付する。 (奨励金 対象労働者1人につき1回限り20万円)</p> <p>【事業の必要性】 奨励金の交付することで、前述の特に就職を希望するとされる人の雇用を進めるために必要である。</p> <p>【事業費】 補助金 800千円</p>	
2. 根拠法令	
湯梨浜町中小企業・小規模企業振興基本条例 湯梨浜町雇用促進奨励金交付要綱	
3. 用地の状況	
4. 基本計画との関連	
<p>【第4次総合計画】「にぎわいと活力あるまちづくり」(雇用・就業の促進と労働環境の充実)</p> <p>【地方創生総合戦略】基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち(雇用の促進) SDGs 目標8「働きがいも経済成長も」</p>	
5. 本年度の計画効果	
<p>【本年度の計画】 対象事業者に奨励金を交付する。町内在住のシニア世代、就職氷河期世代、子育て世代の女性、移住定住者の就職の支援につなげる。</p> <p>【事業の効果】 町内在住のシニア世代、就職氷河期世代、子育て世代の女性、移住定住者の就職を進める。</p> <p>【令和5年度評価】 1人を認定した。雇用が6月以上継続した場合奨励金を交付予定。</p>	
6. 財源の説明	
<p>【県支出金】市町村創生交付金(雇用促進奨励金) 189千円</p> <p>【一般財源】611千円</p>	

【事業費内訳】					
節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	800	800
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合計	800	800
15 原材料費					

【特定財源の内訳】				
財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020501211	市町村創生交付金(雇用促進奨)	189	168

【補助金】					
補助金等の名称	市町村創生交付金				
補助基本額	800	補助率	23.6%	補助金額	189

【実施計画】			
実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

06款 01項 02目 027400000事業 雇用促進奨励金

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
事業	大 0279 創業・販路開拓支援事業 (簡略番号：035401)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	商一その他		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	4,065	4,000	65	4,000	3,216
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	2,829	2,127	702	2,791
	一般財源	1,236	1,873	△637	1,209

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 町内で創業、販路開拓や事業承継などを行う事業者への補助金の交付、セミナー等を開催することで、その取り組みを支援する。
 創業・新しい分野への進出のための事業＝必要経費の1/2 (上限50万円)
 販路開拓のための事業＝必要経費の1/2 (上限20万円)
 事業承継のための事業＝必要経費の2/3 (上限50万円)

【事業の必要性】
 創業、販路開拓、事業承継などの取り組みを行う事業者への補助金の交付や、セミナー等を開催することで、産業の振興、経済の活性化や生産性の向上を図るために必要である。
【事業費】 創業・販路開拓支援事業 補助金4,000千円
 事業承継セミナー開催 消耗品費10千円、委託料55千円

2. 根拠法令
 湯梨浜町中小企業・小規模企業振興基本条例
 湯梨浜町創業・販路開拓支援補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 「にぎわいと活力あるまちづくり」 (商工業の振興)
【地方創生総合戦略】 基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち (商工業の振興)
 SDGs 目標9 「産業と技術革新の基盤をつくろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 創業、販路開拓や事業承継などの取り組みを行う事業者を支援する。
【事業の効果】
 町内での創業、販路開拓や事業承継の取り組みを促進させる。
【令和5年度評価】
 3事業者の創業 (うち2事業者は事業承継)、3事業者の販路開拓、1事業者の新事業展開を支援した。

6. 財源の説明
【繰入金】 ふるさと湯梨浜応援基金繰入金 2,829千円
【一般財源】 1,236千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	4,000	4,000
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	10	10	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	55	55	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	4,065	4,065

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	2,829	2,127

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

06款 01項 02目 027900000事業 創業・販路開拓支援事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
事業	大 0290 県制度融資利子補給補助金事業 (簡略番号：037582)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	商-その他		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	18,730	12,929	5,801	14,187	9,232
財源内訳	国庫支出金			710	
	県支出金	9,363	6,462	2,901	7,090
	地方債				
	その他	8,096	6,302	1,794	6,385
	一般財源	1,271	165	1,106	2

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 災害や経済変動事象により影響を受けた町内事業者が利用する県制度融資の利子負担を県と町で軽減するため、利子相当額の補助金を交付する。
【事業の必要性】
 影響を受けた町内事業者の資金繰り負担を軽減するために必要である。
【事業費】 補助金18,728千円、積立金2千円

2. 根拠法令
 鳥取県企業自立サポート事業基本要綱
 鳥取県新型コロナウイルス感染症対応利子補助金交付要綱【補完型】
 湯梨浜町地域経済変動対策資金利子補給補助金交付要綱
 湯梨浜町災害等緊急対策資金利子補給補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力のあるまちづくり (商工業の振興)
 SDGs 目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 新型コロナウイルス、燃油価格高騰等による県制度融資を実質無利子化している金融機関に補助金を交付する。また災害や経済変動事象により県制度融資が創設された場合、県と協調してその利子負担軽減を図る。
【事業の効果】
 事業者の県制度融資の利子負担を軽減する。
【令和5年度の評価】
 新型コロナウイルスおよび燃油高騰による県制度融資の実質無利子化を実現した。

6. 財源の説明
【県補助金】 県制度融資利子補給補助金 9,363千円
 (うちコロナ8,092千円、燃油高騰1,271千円)
【財産収入】 新型コロナウイルス感染症関連融資利子補給基金利子 2千円
【繰入金】 新型コロナウイルス感染症関連融資利子補給基金繰入金 8,094千円
【一般財源】 1,271千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	18,728	18,728
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金	2	2
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	18,730	18,730

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020501207	県制度融資利子補給補助金	9,363	6,462
財産収入	16010201422	新型コロナウイルス感染症関連	2	2
繰入金	18021601001	新型コロナウイルス感染症関連	8,094	6,300

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県新型コロナウイルス感染症・燃油高騰対応利子補助金				
補助基本額	18,728	補助率	50.0%	補助金額	9,363

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

06款 01項 02目 029000000事業 県制度融資利子補給補助金事業

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位:千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
事業	大 0312 キャッシュレス決済端末等導入支援事業 (簡略番号: 045169)	新規・継続	新規	臨時	
事業期間	令 6. 4. 1~令 7. 3. 31	経費区分	未設定	事業の種類	未設定
補助単独区分		目的区分	商-その他		

所属		0101012100-0000 産業振興課 (商工観光)	
区分	本年度当初	前年度当初	比較
事業費	1,500		1,500
財源内訳	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,500	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
 【事業の概要】
 観光客や地域住民の利便性向上や事業者の売上拡大機会の増加を図りDXを進めるため、キャッシュレス決済端末等の導入経費の一部を補助する。
 町内に事業所(住民登録)を有する法人・個人が導入したキャッシュレス決済機器等の経費に対し1/2(上限75千円)を補助する。
 【事業の必要性】
 キャッシュレス化を推進するために必要である。
 【事業費】
 補助金1,500千円(75千円×20事業者)

2. 根拠法令
 (仮)湯梨浜町キャッシュレス決済端末等導入支援補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
 【第4次総合計画】「にぎわいと活力あるまちづくり」(商工業の振興)
 SDGs 目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」

5. 本年度の計画効果
 【本年度の計画】
 キャッシュレス化の取り組みを行う事業者を支援する。
 【事業の効果】
 キャッシュレス化の取り組みを促進させる。
 【令和5年度評価】
 新規事業のため該当なし。

6. 財源の説明
 【一般財源】 1,500千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費	
02 給料			17 備品購入費	
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	1,500
04 共済費			19 扶助費	
05 災害補償費			20 貸付金	
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金	
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料	
08 旅費			23 投資及び出資金	
09 交際費			24 積立金	
10 需用費			25 寄附金	
11 役務費			26 公課費	
12 委託料			27 繰出金	
13 使用料及び賃借料			予備費	
14 工事請負費			合計	1,500
15 原材料費				1,500

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称			
補助基本額		補助率	補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

06款 01項 02目 031200000事業 キャッシュレス決済端末等導入支援事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費
事業	大 0030 町観光協会補助金 (簡略番号：011331)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	商一観光		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	11,467	10,483	984	10,483	10,481
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	11,467	10,483	984	10,483

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
町の観光振興のため各関係機関と連携しながら、観光商品の企画運営や商品開発、観光客受入に資する事業などを実施。職員を2名配置し事務局を運営。
(1)経常経費(報償費、人件費、旅費、需用費、役務費、委託料等)
(2)事業費(観光客誘致宣伝事業費、各種事業運営費補助、街路灯維持管理費等)

【事業の必要性】
観光は旅館業や飲食業、農業、商業などの経済効果のみならず、地域づくりも包含した裾野の広い分野である。コロナ後の本町の観光客回復が停滞していることから、積極的な支援を行う必要がある。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あふれるまちづくり(観光の振興)
SDGs 目標8「働きがいも 経済成長も」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
主要事業の着地型観光商品や教育旅行などの観光企画・商品の一層の充実を図る。動画作成やInstagram、XなどのSNSに重点を移した情報発信活動を強化する。
【事業の効果】
観光商品の充実と広報活動を強化することで誘客が促進され、コロナ後の観光需要の回復に寄与する。
【R5年度評価】
教育旅行は11月末時点で968名とR4年度(年/3,930名)と比較すると激減。宿泊客も10、11月が前年同期より下回っており、観光競争力向上のためには観光企画・商品の開発、付加価値化及び販促宣伝活動の強化は不可欠で、観光協会への積極的な支援が必要である。
※10月宿泊者数(R4:9,788人 R5:8,081人) 11月宿泊者数(R4:13,395人 R5:11,330人)
12月宿泊者数(R4:11,129人 R5:8,293人)

6. 財源の説明
【一般財源】 11,467千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	11,467	11,467
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	11,467	11,467

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

06款 01項 03目 003000000事業 町観光協会補助金

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	06	商工費	項	01	商工費	目	03	観光費
事業	大	0142	ガストロノミーウォーク事業費補助金 (簡略番号：038352)					
	中							
	小							
事業期間		令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分		経常的経費		事業の種類 未設定				
補助単独区分				目的区分 商一観光				

		所属	0101012100-0000		産業振興課 (商工観光)		
財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
	事業費	1,682	1,682		1,587	1,508	
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
		1,682	1,682		1,587		

【事業概要】	
1. 事業の概要と必要性	
<p>【事業の概要】 温泉地の魅力を食や文化とともに堪能していただく体験型観光イベントとして、「第7回 ONSEN・ガストロノミーウォーキングin湯梨浜町・はわい温泉東郷温泉」を開催する。</p> <p>【事業の必要性】 少子化やニーズの多様化等により国内交流人口が減少するなか、湯梨浜町の温泉、食材、ウォーキングコースを全国区のイベントとして発信することによって、その良さを町内外にPRし、イベント以外にも集客をつなげていく必要がある。</p> <p>【事業費】 実行委員会補助金1,682,000円 事業計画額3,117,000円 補助金以外の財源 参加費1,025,000円、協賛金150,000円、出店料10,000円ほか</p>	
2. 根拠法令	
3. 用地の状況	
4. 基本計画との関連	
<p>【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (観光の振興) SDGs 目標 11 「住み続けられるまちづくりを」</p>	
5. 本年度の計画効果	
<p>【本年度の計画】 町内コースによる食と景観を楽しむウォーキング大会の開催。温泉入浴券つき。 定員300名。対象は主に県外からの着地型観光客。 9月下旬開催予定。内容は実行委員会で協議する。</p> <p>【事業の効果】 温泉入浴を前提とした事業であり、はわい温泉・東郷温泉の知名度向上が見込まれる。 食事として提供した特産物について、県外への認知度向上が図られるとともに、将来的な消費拡大が図られる。温泉保養施設、旅館等への日帰り入浴や宿泊等の経済波及効果が得られる。</p> <p>【令和5年度の評価】 新型コロナ対策を実施しながら開催できた。また参加者からは高い満足度を得た。</p>	
6. 財源の説明	
<p>【一般財源】 1,682千円</p>	

【事業費内訳】					
	節	本年度要求	本年度査定	本年度要求	本年度査定
01	報酬			16 公有財産購入費	
02	給料			17 備品購入費	
03	職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	1,682
04	共済費			19 扶助費	
05	災害補償費			20 貸付金	
06	恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金	
07	報償費			22 償還金、利子及び割引料	
08	旅費			23 投資及び出資金	
09	交際費			24 積立金	
10	需用費			25 寄附金	
11	役務費			26 公課費	
12	委託料			27 繰出金	
13	使用料及び賃借料			予備費	
14	工事請負費				
15	原材料費			合 計	1,682
					1,682

【特定財源の内訳】				
財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】				
補助金等の名称				
補助基本額		補助率	補助金額	

【実施計画】				
実施 計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節 細節			

06款 01項 03目 014200000事業 ガストロノミーウォーク事業費補助金

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費
事業	大 0161 国民宿舎事業特別会計繰出金 中 小 細	(簡略番号：011455)			
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	商一観光		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,142	142	2,000	142	2,912
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,142	142	2,000	142

【事業概要】	
1. 事業の概要と必要性	
<p>【事業の概要】 災害用Wi-Fi使用のための経費及び行政事務に従事する国民宿舎水明荘の職員の人件費を繰り出す。</p> <p>【事業の必要性】 館内での災害用Wi-Fiの使用を継続するとともに、改修工事期間中の休館時に国民宿舎水明荘の職員が役場で行政事務を行うことができる。</p> <p>【事業費】 繰出金 2,142千円</p>	
2. 根拠法令	
湯梨浜町地域防災計画	
3. 用地の状況	
4. 基本計画との関連	
<p>【第4次総合計画】 安全で住みやすいまちづくり (災害に強いまちづくりの推進) SDGs 目標8「働きがいも 経済成長も」</p>	
5. 本年度の計画効果	
<p>【本年度の計画】 災害用Wi-Fiスポット使用料及び行政事務に従事する国民宿舎水明荘の職員の人件費を繰り出す</p> <p>【事業の効果】 災害用Wi-Fiの継続利用と国民宿舎水明荘の職員が行政事務に従事することができる。</p> <p>【令和5年度の評価】 緊急時に備え、災害用Wi-Fiの利用を継続することができた。</p>	
6. 財源の説明	
【一般財源】 2,142千円	

【事業費内訳】					
節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金	2,142	2,142
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合計	2,142	2,142
15 原材料費					

【特定財源の内訳】				
財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】				
補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】				
実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

06款 01項 03目 016100000事業 国民宿舎事業特別会計繰出金

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位: 千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費
事業	大 0164	ハワイアンフェスティバル補助金		(簡略番号: 011467)	
中					
小					
細					
事業期間	令 6. 4. 1~令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定	
補助単独区分		目的区分	商一観光		

所属	0101012100-0000		産業振興課 (商工観光)			
財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	5,075	5,430	△355	4,073	61
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	5,075	5,430	△355	4,073	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 ハワイ郡との姉妹都市提携を記念して始まったフラダンスイベントを開催する。ハワイアン教室、ウェルカムコンサート、フラダンス発表会、ハワイアンコンサートを基本としながら、ハワイ郡をはじめ関係団体等と調整の上、実施する。

【事業の必要性】
 本場ハワイのフラダンスをテーマとしたイベントを開催することで、姉妹都市提携を行うハワイ郡との文化交流の推進を図る。
2. 根拠法令
3. 用地の状況
4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (観光の振興)
 SDGs 目標8「働きがいの経済成長も」
5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】
 第25回ハワイアンフェスティバルハワイ in ゆりはまを7月に開催する。

【事業の効果】
 西日本を中心とするフラダンス愛好家が集うイベントとして定着しており、はわい・東郷温泉に連泊を含めた宿泊客が見込める。ハワイ郡からのゲストとの町民交流や小学校の訪問を行うことで、姉妹都市である湯梨浜町とハワイ郡との交流が図られ、相互の文化への理解が促進される。

【令和5年度の評価】
 新型コロナウイルスによる規制が緩和され、4年ぶりの通常開催。アロハステージ出演団体は50団体、出演者は624名。ハワイからアーティストを招聘し、町民及び全国のフラ愛好者に本場のフラダンスやハワイアンミュージックなどハワイの文化を満喫していただいた。
6. 財源の説明

【一般財源】 5,075千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	5,075	5,075
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	5,075	5,075

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称			
補助基本額	補助率	補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

06款 01項 03目 016400000事業 ハワイアンフェスティバル補助金

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費
事業	大 0233 ワークーション推進事業 (簡略番号：042365)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分	補助事業	目的区分	商一観光		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	896	1,367	△471	755	15,635
財源内訳	国庫支出金	448	683	△235	377
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	448	684	△236	378

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 コロナ禍を契機としたテレワークの推奨や地方回帰の動きの中で、豊かな自然や景観、温泉、特産物など本町の恵まれている環境を活かし、ワークーションによる滞在地として積極的なPRに取り組み、観光客の誘客及び関係人口の創出を図る。

【事業の必要性】
 平日や長期滞在型の旅行需要の創出、また都市部等からの新たな人の流れを創出するために有効である。

【事業内容】
 ワークーション情報広報委託料 396千円
 体験型観光コンテンツ造成支援事業補助金 500千円

2. 根拠法令
 湯梨浜町体験型観光コンテンツ造成支援事業補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次町総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり (観光の振興)
 SDGs 目標8「働きがいも 経済成長も」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 ワークーションに適した滞在候補地として積極的にPRするとともに、体験コンテンツの造成などによる受入環境の整備を推進する。

【事業の効果】
 新たな旅行需要の創出、関係人口の増加、企業との関係性構築等により地域活性化を図ることができる。

【令和5年度の評価】
 町内宿泊施設等のワークーション環境に係る調査を実施するとともに、ワークーションポータルサイトに掲載し、都市部等へのPRに努めるとともに本町の魅力を発信することができた。

6. 財源の説明
【国庫支出金】 448千円 **【一般財源】** 448千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	500	500
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	396	396	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合計	896	896
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020101246	デジタル田園都市国家構想交付	448	683

【補助金】

補助金等の名称	デジタル田園都市国家構想交付金				
補助基本額	896	補助率	50.0%	補助金額	448

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

06款 01項 03目 023300000事業 ワークーション推進事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位: 千円)

款	06	商工費	項	01	商工費	目	03	観光費
事業	大	0238	地域おこし協力隊事業 (関係人口促進)					(簡略番号: 043781)
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 6. 4. 1~令 7. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	商一観光			

		所属	0101012100-0000		産業振興課 (商工観光)		
財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
	事業費	9,220	4,553	4,667	4,019	3,231	
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
一般財源	9,220	4,553	4,667	4,019			

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 関係人口促進担当の地域おこし協力隊1名と新たに雇用する観光担当の地域おこし協力隊1名の人件費。
 ○関係人口促進担当は主にワーケーションのPRや地域住民との交流による関係人口の推進を図る。
 ○(新規)観光担当1名を募集する。内容は、観光協会と連携しながら、地域の観光資源の磨き上げ及び掘り起こしに努め観光ツアーの企画実施等に関わっていただく。また、YouTubeやインスタグラム、フェイスブックなどのSNSを活用した観光情報の発信を行い、域外からの観光誘客を図る。
【事業の必要性】
 豊かな自然や温泉などの観光資源を存分に活かしたワーケーションの推進や町独自の観光ツアーなどによる誘客活動を強化し、コロナ後の観光需要の回復を図る。

2. 根拠法令
 湯梨浜町地域おこし協力隊設置要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (観光の振興)
 SDGs 目標8「働きがいも 経済成長も」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 ・ワーケーションツアーの企画運営及び受入支援を行うとともに、情報発信を行う。
 ・教育旅行などの観光商品の企画運営及び観光情報の発信。
【事業の効果】
 新たな観光客の獲得が期待でき、地域活性化及び関係人口の促進が図られる。
【令和5年度の評価】
 ワケーションツアーの企画運営を行い、ファミリー世帯や県内外の大学生を中心に受入。関係人口の拡大に寄与することができた。

6. 財源の説明
【一般財源】 9,220千円 ※ 特別交付税措置あり

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	3,984	3,984	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	1,234	1,234	18 負担金、補助及び交付金	3,030	3,030
04 共済費	886	886	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	86	86	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	9,220	9,220

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称			
補助基本額	補助率	補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		実施計画 計上額
	章		
	節		
	細節		

06款 01項 03目 023800000事業 地域おこし協力隊事業 (関係人口促進)

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位: 千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費
事業	大 0239 湯梨浜町観光商品開発・PR事業 (簡略番号: 044821)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 6. 4. 1~令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	商一観光		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)				
財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	13,475		13,475	5,280	
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	13,475		13,475	5,280	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
ふるさと納税推進の知見を活かして、特産品のPRや販路拡大活動を行うとともに、地域資源の発掘による新たな商品開発や改良を進める。併せて全国の湯梨浜ファンの開拓や定着のため、町の旬の情報や魅力を全国に広く発信し、関係人口の創出や観光誘客を図る。

【事業の必要性】
ふるさと納税と連携することで地域特性を生かした商品の開発及び販路開拓の促進が図られるとともに、観光振興、関係人口の拡大など多種の効果を得ることができる。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】 にぎわいと活力あふれるまちづくり (観光の振興)
SDGs 目標8「働きがいも 経済成長も」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】
地域資源による新たな商品開発及びブラッシュアップを行うとともに、SNSやオンラインセミナーなどデジタルを駆使した効果的な情報発信を展開する。

【事業効果】
ふるさと納税と連携することでブランド品の開発及び販路開拓が図られ、産業振興、観光誘客、関係人口の創出など様々な分野での相乗効果が得られる。

【令和5年度評価】
ふるさと納税サイトを活用した特産品PRや販路開拓を通して、産業の振興が図られた。またふるさと納税の寄付者や観光客などへの町の旬の情報提供などを通して、本町への愛着を醸成し、関係人口の拡大に寄与することができた。

6. 財源の説明

【一般財源】 13,475千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	13,475	13,475	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	13,475	13,475

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率	補助金額	

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

【事業名】 湯梨浜町観光商品開発・PR事業

【事業概要等】

1 目的

ふるさと納税推進において、地域資源の活用や観光商品のPRも併せて行ってきたが、その知見を活かして、全国的な販路拡大や関係人口の創出を図るために、地域資源の新規発掘による商品開発や既存商品のブラッシュアップを行うもの。
本町の魅力や特産品を全国に広く発信し、もって本町の産業振興を図る。

2 事業スキーム

- (1) 温泉、東郷池、グラウンド・ゴルフなど本町固有の地域資源を活用した着地型、あるいは体験型観光商品の造成、開発
- (2) ふるさと納税寄付者や観光客などの関係人口者へ町の旬の情報を提供。
 - ・広報物や広報誌などのDM送付によるPR
- (3) 全国に湯梨浜ファンを増やすためのSNSや動画を活用した情報発信・シティセールス
 - ・フェイスブック、インスタグラム、X(旧ツイッター)などの情報発信やYouTubeなどの動画を活用した町及び特産品のPR活動の強化
- (4) ふるさと納税を活用したPR
 - ・ふるさと納税を「特産品の広告手段」ととらえ、ふるさと納税サイトを活用したPRや販路開拓活動の強化
- (5) オンラインセミナー等による特産品のPR
 - ・オンラインによるリモートセミナー、研修会を開催し、県外者等に向けたPRや販路拡大活動
- (6) プロフェッショナル人材を活用したシティセールス戦略の検討や効果的な宣伝活動の実施
 - ・「湯梨浜町プロフェッショナル人材マッチング事業」を活用し、県外企業の人材からのアドバイスを受け、効果的な宣伝活動の実施。

3 委託事業者

- ・農業、漁業、商工業、観光業、サービス業などの多業種にコネクションがあり、事業者と連携を図れる事業者
- ・町のシティセールスの実績があり、観光推進、関係人口の創出、産業振興など町が求める事業内容を適切に理解し、実行できる事業者

以上の要件を満たす事業者として、湯梨浜まちづくり㈱を委託事業者として想定。

歳出予算事業概要書

令和6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	05 温泉ふれあい会館費
事業	0111 温泉ふれあい会館指定管理等経費 (簡略番号：025724)				
大					
中					
小					
細					
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	商一観光		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	5,210	5,210		6,303	5,807
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	5,210	5,210		6,303

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
町立温泉ふれあい会館の維持管理、運営など全般について指定管理者を定めて運営する。
令和2年度から5年間、一般財団法人ゆりはま温泉公社を指定管理者に定めている。
[指定期間：令和2年度～令和6年度(5年間)]

【事業の必要性】
同会館の適切な維持管理により、来館者に町の観光資源の一つである温泉を気軽に楽しむことができる場所を提供し、観光振興を図るために必要である。

【事業費】
指定管理料：5,210千円

2. 根拠法令
湯梨浜町立温泉ふれあい会館の設置及び管理に関する条例
湯梨浜町立温泉ふれあい会館の管理運営に関する規則
湯梨浜町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (観光の振興)
SDGs 目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
町立温泉ふれあい会館の管理運営業務を指定管理者制度により実施する。
【事業の効果】
施設の効用を最大限に発揮し、適切な維持管理並びに経費の縮減を図り、利用者の利便性向上を図られる。
【令和5年度評価】
町多目的温泉保養施設や観光協会と連携した集客事業を実施するとともに、チラシ配布等の広報活動を行い、来館者の増加を図った。

6. 財源の説明
【一般財源】 5,210千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	5,210	5,210	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	5,210	5,210

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画 計上額
	章		
	節		
	細節		

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	06 温泉保養施設費
事業	大 0003 温泉保養施設管理臨時経費 (簡略番号：032450)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	商一その他		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	49,570	23,672	25,898	26,437	24,875
財源内訳	国庫支出金	5,325		5,325	
	県支出金	2,662		2,662	
	地方債	41,300	23,600	17,700	20,800
	その他				
	一般財源	283	72	211	5,637

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 町多目的温泉保養施設（平成6年度供用開始）の経年劣化に伴う施設修繕。施設調査における修繕計画に従い年次的に実施する。
【事業の必要性】
 老朽化の進む設備を計画的に改修、更新を行うことで同施設の適切な管理による長寿命化を図り、来館者の満足度を高める。
【事業費】
 レストラン棟清掃費(264千円)、天井改修工事費監理業務(2,165千円)、天井改修工事(46,310千円)、非常用発電機バッテリー交換(831千円)

2. 根拠法令
 湯梨浜町多目的温泉保養施設設置及び管理に関する条例
 湯梨浜町多目的温泉保養施設設置管理規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり（観光の振興）
【過疎地域持続的発展計画（令和3年度～令和7年度）】産業の振興
 SDGs 目標 1 1「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 修繕計画および指定管理者との協議により、ゆアス東郷龍鳳閣の改修工事等をおこなう。
【事業の効果】
 同施設の適切な管理を行い、来館者の満足度を高める。これにより、町の観光資源の一つである温泉を気軽に楽しむことができ、同施設の来館者の増加につなげる。
【令和5年度評価】
 修繕計画および指定管理者との協議に基づき、中央監視装置および薬液タンクの更新、天井改修設計業務を実施し、施設の適正管理及び長寿命化を図った。

6. 財源の説明
【地方債】 41,300千円 **【国庫支出金】** 5,325千円 **【県補助金】** 2,662千円
【一般財源】 283千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費	264	264	26 公課費		
12 委託料	2,165	2,165	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	47,141	47,141			
15 原材料費			合計	49,570	49,570

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020402201	住宅・建築物耐震改修等事業補	5,325	
都道府県支出金	15020604001	鳥取県震災に強いまちづくり促	2,662	
地方債	21010501207	過疎対策事業債（温泉保養施設	41,300	23,600

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

06款 01項 06目 000300000事業 温泉保養施設管理臨時経費

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	06 温泉保養施設費
事業	大 0010 温泉保養施設指定管理等経費 (簡略番号：026395)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1~令 7. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	商-その他		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	40,960	38,240	2,720	43,185	43,328
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	23,200	23,000	200	33,000
	その他				
一般財源	17,760	15,240	2,520	10,185	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 町多目的温泉保養施設の維持管理、運営など全般について指定管理者を定めて運営する。令和2年度から5年間、一般財団法人ゆりはま温泉公社を指定管理者に定めている。
 [指定期間：令和2年度～令和6年度(5年間)]
【事業の必要性】
 町の観光資源の一つである温泉を気軽に楽しむことができる場所を提供し、住民の健康増進と福祉の向上を図るとともに、観光振興を促進するために必要。
【事業費】
 指定管理料 38,854千円(通常分38,240千円+特定建築物検査440千円+温泉使用料改定174千円)
 休業補償費 2,106千円(天井改修工事による休館)

2. 根拠法令
 湯梨浜町多目的温泉保養施設設置及び管理に関する条例
 湯梨浜町多目的温泉保養施設設置管理規則
 湯梨浜町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり(観光の振興)
 SDGs 目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 町多目的温泉保養施設の管理運営業務を指定管理者制度により実施する。
【事業の効果】
 施設の効用を最大限に発揮し、適切な維持管理並びに経費の縮減を図り、利用者の利便性向上が図られる。
【令和5年度評価】
 中国庭園燕趙園、観光協会などと連携した集客事業、町と連携した健康づくり事業などを実施。住民の健康増進と福祉の向上、観光振興の促進に努めた。

6. 財源の説明
【地方債】23,200千円 **【一般財源】**17,760千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	40,960	40,960	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	40,960	40,960

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
地方債	21010501208	過疎対策事業債(温泉保養施設)	23,200	23,000

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

06款 01項 06目 001000000事業 温泉保養施設指定管理等経費

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位: 千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	07 グラウンドゴルフのふる里公	所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)
事業	大 0002	グラウンドゴルフふる里公園施設整備事業 (簡略番号: 026409)		新規・継続	継続	臨時	経費区分	未設定
事業	中			事業の種類	未設定			
事業	小			補助単独区分	単独事業			
事業	細			目的区分	商-その他			
事業期間	令 6. 4. 1~令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨時			
経費区分	未設定		事業の種類	未設定				
補助単独区分	単独事業		目的区分	商-その他				

区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	5,164	2,339	2,825	2,067
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	2,110	1,062	1,048	1,033
	地方債	2,700	1,200	1,500	1,000
	その他				
一般財源	354	77	277	34	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 とまりグラウンドゴルフのふる里公園 (平成5年供用開始) の経年劣化に伴う施設修繕及び年次的な整備を行う。
【事業の必要性】
 老朽化の進む施設を計画的に修繕することで同施設の適切な管理による長寿命化を図る。また、発祥地大会や国際大会などの大規模な大会が本施設において充実した環境で開催されるよう、グラウンドゴルフの聖地化に向けて過疎対策事業債等を活用し改修整備を行う。
【事業費】 5,164千円
 クラブハウスLED化(4,221千円)、恐竜模型1体の再塗装(943千円)

2. 根拠法令
 とまりグラウンドゴルフのふる里公園の設置及び管理に関する条例
 とまりグラウンドゴルフのふる里公園の設置及び管理に関する条例施行規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり (観光の振興)
【過疎地域持続的発展計画 (令和3年度~令和7年度)】 産業の振興
 SDGs 目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 指定管理者との協議により施設の老朽箇所の修繕をおこなう。
【事業の効果】
 施設の適切な管理を行い来園者の満足度の向上を図るとともに、地域活性化とさらなる競技普及及び来園者の増加につなげる。
【令和5年度評価】 公園内のフェンス改修工事およびトイレ更新工事を実施し、施設の魅力度アップに貢献した。

6. 財源の説明
【地方債】 脱炭素化推進事業債1,800千円、過疎対策事業債900千円
【県支出金】 2,110千円 **【一般財源】** 354千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	5,164	5,164	合計	5,164	5,164
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020803416	グラウンド・ゴルフの聖地化等	2,110	1,062
地方債	21010501202	過疎対策事業債 (グラウンド・	900	1,200
地方債	21010503001	脱炭素化推進事業債 (グラウン	1,800	

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率	補助金額	

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

06款 01項 07目 000200000事業 グラウンドゴルフふる里公園施設整備事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	07 グラウンドゴルフのふる里公
事業	大 0010 グラウンドゴルフふる里公園指定管理等経費 (簡略番号：026416)	新規・継続	継続	臨・経	経常
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	経費区分	未設定	事業の種類	未設定
補助単独区分		目的区分	商-その他		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	8,755	8,755		8,755	8,755
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	8,700	6,700	2,000	6,700
	その他	8	1,630	△1,622	1,070
一般財源	47	425	△378	985	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
グラウンドゴルフのふる里公園の維持管理、運営など全般について指定管理者を定めて運営する。令和2年度から5年間、株式会社チュウブを指定管理者に定めている。
[指定期間：令和2年度～令和6年度(5年間)]

【事業の必要性】
町の観光資源の一つであるグラウンドゴルフを楽しむことができる場所を提供することで、町の活性化と町民の心身の健全な発達に寄与し、さらに観光振興を促進するために必要である。

【事業費】
指定管理料 8,755千円

2. 根拠法令
とまりグラウンドゴルフのふる里公園の設置及び管理に関する条例
とまりグラウンドゴルフのふる里公園の設置及び管理に関する条例施行規則
湯梨浜町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (観光の振興)
SDGs 目標 11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
グラウンドゴルフのふる里公園の管理運営業務を指定管理者制度により実施する。
【事業の効果】
施設の効用を最大限に発揮し、適切な維持管理並びに経費の縮減を図り、利用者の利便性向上が図られる。
【令和5年度評価】
公園の施設及び設備の適切な維持管理により、町の活性化と町民の心身の健全な発達に寄与することができた。

6. 財源の説明
【地方債】 8,700千円 **【繰入金】** ふるさと湯梨浜応援基金 8千円
【一般財源】 47千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	8,755	8,755	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	8,755	8,755

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	8	1,630
地方債	21010501209	過疎対策事業債 (グラウンド・	8,700	6,700

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

06款 01項 07目 001000000事業 グラウンドゴルフふる里公園指定管理等経費

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	09 デジタル田園都市国家構想交
事業	大 0002 ゆうゆうゆりはま事業 (簡略番号：036777)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	商一観光		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	21,733	21,895	△162	22,495	765
財源内訳	国庫支出金	10,866	9,620	1,246	9,620
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	10,867	12,275	△1,408	12,875

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 本町の豊富な食材を使用し、地元飲食店でオリジナルメニューを開発。「料理のまち」という新たなブランドイメージを浸透させ、都市部をはじめ県内外に広く周知し、誘客促進及び販路拡大を図る。

【事業の必要性】
 本町の産品を、観光の醍醐味で集客力がある「食」と組み合わせ、全国に情報発信することで都市圏での認知度アップや誘客を促進するとともに、地域経済の活性化につなげることができる。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次湯梨浜町総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり
【まち・ひと・しごと創生総合戦略事業】 活力ある元気なまち (観光産業の振興) SDGs 目標8「働きがいも 経済成長も」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】
 引き続き本町の産品を使用した町内飲食店によるオリジナルメニュー開発を支援。特に都市部に希求するため、山手線への電子公告などデジタルに重点を置いた誘客促進を展開。県内外へ「料理のまち」のブランドイメージをPRし、販路開拓を行う。

【事業の効果】
 町の観光資源に魅力的なストーリーを付加することにより地域ブランドのステップアップが図られるとともに、積極的に拡散性が高い情報発信により誘客促進につなげることができる。

【令和5年度の評価】
 東京都で食材などの特産品や観光コンテンツをPRするイベントを開催。また料理のまち推進事業として本町の飲食店によるオリジナルメニューの開発の支援と都市部をはじめとした宣伝活動を展開。「食」に焦点を置いた新たな地域ブランドの確立を進めた。

6. 財源の説明

【国庫支出金】 10,866千円 (デジタル田園都市国家構想交付金) **【一般財源】** 10,867千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	21,733	21,733	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合計	21,733	21,733
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020101246	デジタル田園都市国家構想交付	10,866	9,620

【補助金】

補助金等の名称	デジタル田園都市国家構想交付金				
補助基本額	21,733	補助率	50.0%	補助金額	10,866

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

06款 01項 09目 000200000事業 ゆうゆうゆりはま事業

【事業名】 ゆうゆうゆりはま事業

【事業概要等】

料理のまち湯梨浜町プロジェクト(第2期)

食を切り口として、本町の新たなブランドイメージを付加するため、本町の豊富な食材に着目し、食材を使用した町内旅館、飲食店によるオリジナルメニューの開発を行う。

メニュー完成後、都市圏を中心に情報発信することで、地域食材の話題性を高め、新たな観光客の掘り起こしや関係人口の創出を図るとともに、地元や近隣の住民の誘客も促進し、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。

- 町内の飲食店(想定:10店舗程度)による湯梨浜町の食材を使ったオリジナルメニューの開発

首都圏のレストランシェフと地元の和食料理人による指導助言を受けながらオリジナルメニューの完成及び各店舗での提供を支援する。

(開発試作費用 等への支援)

- 開発したメニューは、ポスター、冊子を作成し広報。町ホームページ、「ゆうゆうゆりはま」専用サイト等の媒体で県内外へ周知。

- 県外からの誘客促進を図るため、首都圏、関西圏の新聞広告によるPRの実施。

- ショートムービーを作成し、YouTube等で情報発信

- 首都圏の電車内において観光情報PR(車内デジタルサイネージ広告)

※電車に設置されたディスプレイで動画等広告を放映する広告